

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

Contents

1. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について	2
2. ERDB-JP (国内刊行電子ジャーナルのナレッジベース) の公開および パートナー機関の募集について	3
(NACSIS-CAT)	
3. 目録システムの改修について (コードの追加)	5
4. NII での目録品質管理 (9)	5
(NACSIS-ILL)	
5. ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告	8
(教育研修事業)	
6. 目録システム書誌作成研修 (試行) について	9
(付録)	
・コーディングマニュアル (内容一覧)	
・コーディングマニュアル (1.0.2 データ要素間の区切り記号)	
・コーディングマニュアル (第2章 和図書書誌レコード)	
・コーディングマニュアル (第4章 洋図書書誌レコード)	
・コーディングマニュアル (第6章 和雑誌書誌レコード)	
・コーディングマニュアル (第7章 洋雑誌書誌レコード)	
・コーディングマニュアル (第8章 著者名典拠レコード (日本名: 個人名))	
・コーディングマニュアル (第9章 著者名典拠レコード (日本名: 団体名))	
・コーディングマニュアル (第12章 著者名典拠レコード (日本名以外: 団体名))	
・コーディングマニュアル (第14章 統一書名典拠レコード (日本名))	
・コーディングマニュアル (第25章 著者名典拠レコード (日本名) 修正)	
・コーディングマニュアル (51.1 別法の採否)	
・コーディングマニュアル (付録 1.3 言語コード表)	
・コーディングマニュアル (付録 1.5 主題関係のコード表)	
・コーディングマニュアル (付録 5.1 図書書誌レコード項目一覧)	



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同 上

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax: 同 上

学術基盤課

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター40号でご紹介しましたとおり、これからの学術情報システム構築検討委員会は「電子情報資源を含む総合目録データベースの強化」に関する事項を企画・立案し、学術情報資源の基盤構築、管理、共有および提供にかかる活動を推進することを目的として検討を進めています。

委員会では、4月28日に平成27年度第1回委員会（通算第11回）を開催し、現時点での検討状況を「これからの学術情報システムの在り方について」としてまとめ、公開しました。

URL : <http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/>

また、委員会の当面の課題に対して大学図書館等と国立情報学研究所による連携した検討を進めるため、2つの作業部会を設置しました。

■ 作業部会

1. 電子リソースデータ共有作業部会

- ・ 目的
電子情報資源のデータの管理・共有に係る検討・調査・提案
- ・ 設置年月
平成27年4月
- ・ 作業部会委員

東京学芸大学 教育研究支援部 学術情報課長	小野 亘	主査
お茶の水女子大学図書・情報課係員（情報基盤担当）	香川 朋子	
電気通信大学 学術情報課 学術情報サービス係主任	上野 友稔	
京都大学 附属図書館 情報管理課 雑誌情報掛	塩野 真弓	
慶應義塾大学 メディアセンター本部 電子情報環境担当	古賀 理恵子	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室	塩出 郁	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 係長	片岡 真	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 係長	上村 順一	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 係員	古橋 英枝	

2. NACSIS-CAT 検討作業部会

- ・ 目的
NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化に係る検討・調査・提案
- ・ 設置年月
平成27年7月

・ 作業部会委員

筑波大学 附属図書館 情報サービス課長	佐藤 初美	主査
東北大学 附属図書館 情報管理課 図書情報係長	関戸 麻衣	
千葉大学 附属図書館 利用支援企画課 副課長	三角 太郎	
東京外国語大学 学術情報課 目録係	村上 遥	
お茶の水女子大学 図書・情報課 副課長 図書館企画担当(総務)	平田 義郎	
一橋大学 学術・図書部 学術情報課 目録情報係長	藤井 眞樹	
京都大学 情報サービス課 相互利用掛	大西 賢人	
静岡文化芸術大学 情報室 副主幹	河手 太士	
慶應義塾大学 メディアセンター本部 (受入目録担当 課長)	河野 江津子	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 係長	上村 順一	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 係長	齊藤 泰雄	
国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 係員	古橋 英枝	

(CiNii/新 CAT 担当)

ERDB-JP(国内刊行電子ジャーナルのナレッジベース)の公開および

パートナー機関の募集について

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター40号にてお知らせいたしましたように、これからの学術情報システム構築検討委員会の下に設置した電子リソースデータ共有ワーキンググループ（現作業部会）は、平成27年4月に国内刊行電子リソースのナレッジベース“ERDB-JP”（Electronic Resources Database-JAPAN）を公開しました。

ERDB-JP
Electronic Resources Database-JAPAN

HOME 概要 コンテンツ管理 パートナー ドキュメント お問い合わせ

ERDB-JPとは

ERDB-JP（Electronic Resources Database-JAPAN）とは、大学・出版社・ナレッジベースベンダーが一緒になって構築していく、国内刊行電子リソースの共有サービスです。
 サイト内に登録されたデータはCC0 1.0 Universalの下に提供されています。
 どなたでもゲストユーザー（ログイン不要）として、登録データの検索・閲覧・エクスポートおよび新規登録/修正/削除依頼が可能です。

ユーザーログイン

アカウント *

パスワード *

図1：ERDB-JPのトップページ

この ERDB-JP のデータ登録機関（パートナー機関）を 6 月 11 日から募集開始しました。

■ パートナー対象機関

大学，短期大学，高等専門学校，大学共同利用機関，文部科学省及び文化庁の施設等機関

■ パートナー種別

パートナー種別は申請機関が任意で選択可能です。申請後の種別変更も可能です。

・ パートナーA

新規登録及び ERDB-JP 内の全データの修正・削除が可能

すでに他のナレッジベースを OPAC やディスカバリサービス，リンクリゾルバ等で使用しており，利用者から日常的に修正依頼があったり，実際に高頻度で修正作業をされている機関は，パートナーA の選択をお勧めいたします

・ パートナーB

新規登録及び自機関登録コンテンツ（マイコンテンツ）の修正・削除が可能

自機関の刊行物の電子化を機関リポジトリ等で行っている場合などに，パートナーB としてご参加いただくことも可能です

■ 申請方法

ERDB-JP のウェブサイトからリンクされた「アカウントの作成」から申請を行ってください。

・ アカウント作成画面

<https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/user/register>

■ 発行アカウント

一機関につき一アカウント発行いたします。

その他，ERDB-JP の概要や目的，データ登録方法等は ERDB-JP のウェブサイトでご確認ください。

URL : <https://erdb-jp.nii.ac.jp/>

(ERDB 担当)

目録システムの改修について（コードの追加）

以下のとおり、目録システムの改修（コードの追加）を行いました。
新コードの運用は、平成 27 年 4 月 28 日（火）から実施しています。

・分類コード

NDC10	NDC10 版
-------	---------

・件名コード

BISACSH	BISAC Subject Headings
RAM	RAMEAU: repertoire d'autorite de matieres encyclopedique unifile (Paris: Bibliothque nationale)

付録として、改訂後の「コーディングマニュアル 付録 1.3 言語コード表、付録 1.5 主題関係のコード表」を添付します。

(NACSIS-CAT 担当)

NII での目録品質管理(9)

目録品質管理の実際を紹介する第 9 回は、NACSIS-CAT での雑誌関係の事項についてご紹介します。

1) 報告前の問合せは必要？不要？

雑誌の書誌レコードを作成・修正した場合は、国立情報学研究所にご報告いただくことになっていますが、以下のテキストやマニュアル等を確認しても判断に迷う場合はどうしますか？

参考

＊書誌作成・修正等

- ・ 『目録情報の基準』
<http://catdoc.nii.ac.jp/MAN/KIJUN/kijun4.html>
- ・ 『目録システムコーディングマニュアル』（以下 C.M.）
<http://catdoc.nii.ac.jp/MAN2/CM/mokuji.html>
- ・ 『目録システム利用マニュアル』
<http://catdoc.nii.ac.jp/MAN/CAT6/mokuji.html>
- ・ 『NACSIS-CAT/ILL テキスト教材/目録システム講習会テキスト（雑誌編）』
http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/text_index.html

＊過去の事例

- ・ 「NACSIS-CAT/ILL Q&A DB/NACSIS-CAT/ILL への質問・回答の検索」
<https://cattools.nii.ac.jp/qanda/kensaku.php>

今回は報告の前に問合せが必要か、不要かについて事例をいくつかご紹介します。

A. 書誌の同定に迷うケース ⇒ 修正前に問合せが必要

- ・ 雑誌書誌レコードの履歴が古く簡易な情報しか記述されていない（巻次・年月次もない）が、本タイトルは同一で出版地が異なる。出版地を修正して良いか。
- ・ 初号または注記されている記述根拠号より古い号があり、軽微な変化（C.M.6.0.1A1.2, 7.0.1A1.2）に該当した。既存書誌の本タイトルを書き替えることになるがよいか。

本タイトルや版表示等、書誌の同定に関わる重要なフィールドは、修正をしてしまう前に「NACSIS-CAT/ILL Q&A DB」<https://cattools.nii.ac.jp/qanda/uketuke.php> までお問合せください。これらのケースではその書誌レコード作成時に根拠とした情報源や、場合によっては他の所蔵館の情報源と照合して判断します。なお TR や ED を修正した場合、レコード調整連絡で所蔵館にもご連絡します。

B. 書誌の同定が可能なケース ⇒ 修正前の問合せは不要

基本的に手元の資料が、この書誌レコードだと同定できれば、所蔵資料で確認できる範囲内で、C.M.23.1 優先度の高い情報源による修正に則り、初号による修正（C.M.23.1B）／初号以外の号による修正（C.M.23.1 C,D,E）を行ってください。そして修正後に、どこを修正したか分かるように前後の書誌レコードの写しと、根拠とした情報源のコピーをお送りください。報告をいただいてから、国立情報学研究所にて必要に応じて書誌調整を行いますので、事前の問合せはいりません。

出版月等の細かな間違い

- ・ 初号の奥付に出版年が「2002 年 5 月 31 日」と表示されているが、書誌レコードの出版年が「2002.3」となっている。
→ 出版年の月の部分（C.M.6.2.4 PUB F4）についての転記ミスと思われますので、修正してからご報告ください。なお、出版年については、通常は、年までのレベルで十分です。

変更の境目を所蔵していない

- ・ 巻次変更がおこっているが、変更の境目を所蔵していないので、巻次・年月次を修正できない？
→ 巻次変更は VLYR フィールドに区切り記号「Δ;Δ」をはさんで記述しますが、境目がなければ、前後の巻次・年月次を書かずに「Δ;Δ」のみを記述し、ご報告ください。

例

旧方式による終号の巻次がわからない場合

VLYR:No. 1 ([1980.5])- ; 1 号 ([平 21.5])-

旧方式による終号の巻次、新方式による初号の巻次がわからない場合

VLYR:- ; - v. 44, no. 6 (June 1974) NOTE:Description based on: No. 46 (Jan. 1938)

- ・ 出版者が変わっているが、その境目を所蔵していないので注記が書けない？
→ 目録規則や C.M.にはありませんが、注記の書き方として<>を使って「少なくとも...からは」という記述が可能です。

参考文献: "Notes for serial cataloging" 3rd ed. (ISBN: 9781591586531 <BB0444519X>)

例

NOTE:出版者変更: 小澤昔ばなし研究所 (<59号 (2014.春)>-)

NOTE:Publisher varies: Routledge, Taylor & Francis (<Vol. 16, no. 1 (Mar. 2014)>-)

- ・ 大きさ等が変わっているが、その境目を所蔵していないので注記が書けない？
→ 同様に、ご所蔵の号で分かる範囲を、<>を使って記述してください。

例

NOTE:大きさ変更あり: 26cm (vol. 1 (1981)-)→21cm (<vol. 15 (1996)>-)

少なくとも vol. 15 からは 21cm であることがこれで示せます。他にも刊行途中から並列タイトルが出現したが、欠号が多くていつからか分からないなどの場合にも、同様の方法で注記することができます。

※ただし、不等号<>の記号は TR フィールド等、使用できないフィールドがあります。NOTE フィールド以外で<>を使用する際は、C.M.1.1.3B (1)にある記号の表記法「例外規定」に注意してください。

2) 本体と Supplement は派生関係として変遷報告するか？

本体と別の独自の巻号付けを持つ付属・補遺資料（別冊、増刊など）は、本体と同一のタイトルであっても別書誌レコードとし（C.M.0.4.3 B4）、共通タイトルの後に区切り記号「.Δ」を置いて付録や補遺資料である表示を記録します。そして、付録・補遺資料と本体の関係は、変遷以外の他雑誌との関係のひとつと捉えます。『英米目録規則第2版』（AACR2）12.7B7 では他の逐次刊行物との関係として、継続、合併、分離、吸収（NACSIS-CAT での変遷関係）の他に、翻訳、複製、版などと並んで、付録であることを注記することになっています。

本体と付属・補遺資料・Supplement の関係は、派生の定義「ある雑誌から別の雑誌が分離、独立して創刊された場合」（C.M.6.0.1 B2）にあてはまるだろうか？と迷われることがあるかと思いますが、変遷マップは作成していません。「NOTE:Supplement to: Scandinavian journal of work environment & health」というような注記があっても、変遷報告は不要です。

(NACSIS-CAT 担当)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

(平成 26 年度第 4 四半期, 平成 27 年度第 1 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

■ 平成 26 年度第 4 四半期 (平成 27 年 1 月～3 月)

- ・ 利用機関数：890
- ・ 処理対象 ILL レコード件数：132,385 (NACSIS-ILL 総レコード件数：144,493)

		対債務機関	対債権機関
機関数		514	376*
NII の請求額/支払額		15,021,672	▲14,962,633*
内 訳	相殺金額	15,020,174	▲15,020,174
	運営費 (税込)	3,240	3,240
	前期債権繰越額	▲1,931	▲7,529
	振込手数料	189	61,830

* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(7 機関, 543 円)が含まれています。

■ 平成 27 年度第 1 四半期 (平成 27 年 4 月～6 月)

- ・ 利用機関数：901
- ・ 処理対象 ILL レコード件数：164,178 (NACSIS-ILL 総レコード件数：177,827)

		対債務機関	対債権機関
機関数		524	377*
NII の請求額/支払額		21,276,200	▲15,399,356*
内 訳	相殺金額	17,887,292	▲17,887,292
	運営費 (税込)	3,389,040	2,442,960
	前期債権繰越額	▲132	▲411
	振込手数料	0	45,387

* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(14 機関, 6,558 円)が含まれています。

(NACSIS-ILL 担当)

目録システム書誌作成研修（試行）について

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター40 号にてお知らせいたしましたように平成26年度まで実施しておりました目録システムに係る講習会につきましては、平成27年度から平成28年度にかけて大規模な再編成を行います。その一環として、平成27年度より目録業務経験者を対象とした「目録システム書誌作成研修」を新たに開催することとなりました（但し、平成27年度は試行）。

具体的な研修内容につきましては、只今、企画ワーキンググループを立ち上げて、検討しているところです。主に、「目録所在情報サービスに関する質問書/回答書データベース検索システム」に寄せられた事例等を課題として使用し、グループ討議を主としたワークショップ形式で行う予定です。

研修の申込み手順等の詳細につきましては、以下のサイトにてお知らせします。9月初旬に申込みの受付を開始しました。

http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/cat/biblio_index.html

以下に、『平成27年度 教育研修事業要綱』の当該研修についての記載の一部を示します。

1. 目的

目録所在情報サービス参加機関において書誌登録・書誌修正を行う目録業務担当者が、多様な書誌事例について理解を深め、総合目録データベースの円滑な運用に必要な知識・技能を修得する。

2. 到達目標

目録情報の基準、コーディングマニュアル、各種資料取扱いマニュアル（特殊文字・特殊言語、和漢古書ほか）等適切なツールを参照しながら、NACSIS-CAT への書誌登録・書誌修正を円滑に行うことができるようになる。また目録業務担当者へ対して、参照すべきツールの提示等、事例に応じた支援ができるようになる。

3. 受講対象者

(1) 所属機関

目録所在情報サービスの参加機関であること。

(2) 知識・技術

目録所在情報サービス参加機関における目録業務経験を通算2年以上有し、書誌データの登録・修正等の経験がある者。

かつ国立情報学研究所（NII）の目録システム講習会を修了、もしくは「NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材（CAT 編）」図書コースまたは雑誌コースの学習を完了した者。

4. 受講の前提となる知識・技術

目録所在情報サービスの体系を理解し、基本的目録規則を含めた、目録業務に必要な知識を有していること。

主要な目録業務関連ツール（目録情報の基準，コーディングマニュアル，目録所在情報サービスに関する質問書/回答書データベース検索システム等）を把握し，目録システムを利用して書誌データの登録・修正等の作業を行えること。

5. 開催会場・開催期間等

開催会場	開催日時		申込締切日	定員
国立情報学研究所	27.12.17(木) ～ 12.18(金)	第1日 13:00～17:30 第2日 9:30～17:00	27.10.16(金)	20 名

(中略)

7. 受講の申込みと受講者の決定

受講希望者の所属機関の長または所属部局の長から国立情報学研究所長に対して，推薦書を提出することで受講希望者の推薦を行う。

国立情報学研究所長は，推薦された者の中から受講者を選考し，各所属機関の長または所属部局の長に対して結果を通知する。

(後略)

(教育研修事業担当)

内容一覧

内容一覧	7p	2015.08 変更
このマニュアルについて	2p	2015.08 変更
改訂履歴	10p	1998.03

変更

第0章 総則

0.1 ファイル

0.1.1 図書と逐次刊行物

0.1.2 和資料と洋資料 3p 1998.03

0.2 レコードの作成単位

0.2.1 図書書誌レコード

0.2.2 雑誌書誌レコード

0.2.3 著者名典拠レコード

0.2.4 統一書名典拠レコード

0.2.5 所蔵レコード

0.3 レコード間の関係

0.3.1 書誌構造

0.3.2 タイトル変遷

0.3.3 著者標目

0.3.4 統一書名標目

0.3.5 所蔵・所在情報

0.4 新規レコード作成の指針 2p 1998.03

0.4.1 図書書誌レコード 6p 1998.03

0.4.2 図書書誌レコード（親書誌） 4p 1998.03

0.4.3 雑誌書誌レコード 3p 1998.03

0.4.4 著者名典拠レコード 3p 1998.03

0.4.5 統一書名典拠レコード

0.4.6 所蔵レコード

第I部 データ記入

第1章 データ記入総則 1p 1998.03

1.0 通則

1.0.1 フィールドと入力レベル 2p 1998.03

1.0.2 データ要素間の区切り記号 8p 1998.03

1.1 データの表記法

1.1.1 目録システム用文字セットと目録用言語 1p 1998.03

1.1.2 転記の原則 2p 1998.03

1.1.3 記号の表記法 1p 1998.03

1.2 外字

1.2.0 通則

1.2.1 日本語

変更

1.2.2	中国語, 韓国・朝鮮語		
1.2.3	その他の言語		
1.2.4	図形情報等		
1.3	ヨミの表記と分かち書き		
1.3.1	ヨミの表記		
1.3.2	分かち書き		
第2章	和図書書誌レコード	2p	1998.03
2.0	通則	3p	1998.03
2.0.1	固有のタイトル	4p	1998.03
2.0.2	書誌構造	3p	1998.03
2.0.3	出版物理単位	2p	1998.03
2.0.4	複製・原本代替資料	2p	1998.03
2.0.5	付属資料	3p	1998.03
2.0.6	更新資料	5p	2006.03 変更
2.1	ID&コードブロック	1p	1998.03
2.1.1	ID	1p	1998.03
2.1.2	MARCF LG	1p	2015.08 変更
2.1.3	GMD	2p	1998.03
2.1.4	SMD	2p	1998.03
2.1.5	YEAR	3p	1998.03
2.1.6	CNTRY	3p	1998.03
2.1.7	T T L L	2p	1998.03
2.1.8	T X T L	3p	1998.03
2.1.9	ORGL	3p	1998.03
2.1.10	REPRO	2p	1998.03
2.1.11	VOL	4p	1998.03
2.1.12	ISBN	3p	1998.03
2.1.13	PRICE	2p	1998.03
2.1.14	X ISBN	2p	1998.03
2.1.15	ISSN	2p	1998.03
2.1.16	NBN	2p	1998.03
2.1.17	NDLCN	2p	1998.03
2.1.18	GPON	2p	1998.03
2.1.19	OTHN	3p	1998.03
2.2	記述ブロック	2p	1998.03
2.2.1	TR	10p	1998.03
2.2.2	ED	3p	1998.03
2.2.3	PUB	6p	1998.03
2.2.4	PHYS	2p	1998.03
2.2.5	VT	3p	1998.03
2.2.6	CW	5p	1998.03
2.2.7	NOTE	3p	1998.03
2.3	リンクブロック	2p	1998.03
2.3.1	PTBL	6p	1998.03
2.3.2	AL	5p	1998.03
2.3.3	UTL	4p	1998.03

2.4 主題ブロック	1p	1998.03
2.4.1 C L S	3p	1998.03
2.4.2 S H	3p	1998.03
第3章 和図書書誌レコード（親書誌）	2p	1998.03
3.1.6 C N T R Y	1p	1998.03
3.1.8 T X T L	1p	1998.03
第4章 洋図書書誌レコード	2p	1998.03
4.0 通則	3p	1998.03
4.0.1 固有のタイトル	3p	1998.03
4.0.2 書誌構造	3p	1998.03
4.0.3 出版物理単位	2p	1998.03
4.0.4 複製・原本代替資料	2p	1998.03
4.0.5 付属資料	2p	1998.03
4.0.6 更新資料	4p	2006.03 変更
4.1 I D&コードブロック	1p	1998.03
4.1.1 I D	1p	1998.03
4.1.2 M A R C F L G	1p	2015.08 変更
4.1.3 G M D	2p	1998.03
4.1.4 S M D	2p	1998.03
4.1.5 Y E A R	3p	1998.03
4.1.6 C N T R Y	3p	1998.03
4.1.7 T T L L	2p	1998.03
4.1.8 T X T L	3p	1998.03
4.1.9 O R G L	3p	1998.03
4.1.10 R E P R O	2p	1998.03
4.1.11 V O L	4p	1998.03
4.1.12 I S B N	3p	1998.03
4.1.13 P R I C E	2p	1998.03
4.1.14 X I S B N	2p	1998.03
4.1.15 I S S N	2p	1998.03
4.1.16 N B N	2p	1998.03
4.1.17 L C C N	2p	1998.03
4.1.18 G P O N	2p	1998.03
4.1.19 O T H N	2p	1998.03
4.2 記述ブロック	2p	1998.03
4.2.1 T R	10p	1998.03
4.2.2 E D	7p	1998.03
4.2.3 P U B	8p	1998.03
4.2.4 P H Y S	4p	1998.03
4.2.5 V T	2p	1998.03
4.2.6 C W	3p	1998.03
4.2.7 N O T E	3p	1998.03
4.3 リンクブロック	2p	1998.03
4.3.1 P T B L	6p	1998.03
4.3.2 A L	5p	1998.03
4.3.3 U T L	4p	1998.03

変更

変更

4.4 主題ブロック	1p	1998.03
4.4.1 C L S	3p	1998.03
4.4.2 S H	3p	1998.03
第5章 洋図書書誌レコード（親書誌）		
第6章 和雑誌書誌レコード	2p	1998.12 変更
6.0 通則	3p	1998.12
6.0.2 複製資料	3p	1998.12
6.0.3 総称のタイトル	1p	1998.12
6.1 I D&コードブロック	1p	1998.03
6.1.1 I D	1p	1998.03
6.1.2 M A R C F L G	1p	2015.08 変更
6.1.3 G M D	2p	1998.03
6.1.4 S M D	2p	1998.03
6.1.5 Y E A R	4p	1998.03
6.1.6 C N T R Y	4p	1998.03
6.1.7 T T L L	3p	1998.03
6.1.8 T X T L	3p	1998.03
6.1.9 O R G L	3p	1998.03
6.1.10 R E P R O	2p	1998.03
6.1.11 P S T A T	3p	1998.03
6.1.12 F R E Q	3p	1998.03
6.1.13 R E G L	3p	1998.03
6.1.14 T Y P E	2p	1998.03
6.1.15 I S S N	3p	1998.03
6.1.16 X I S S N	2p	1998.03
6.1.17 N D L P N	2p	1998.03
6.1.18 C O D E N	2p	1998.03
6.1.19 U L P N	2p	1998.03
6.1.20 G P O N		
6.2 記述ブロック		
6.2.1 T R	8p	1998.12
6.2.2 E D	4p	1998.12
6.2.3 V L Y R	5p	1998.12
6.2.4 P U B	5p	1998.12
6.2.5 P H Y S	2p	1998.12
6.2.6 V T	5p	1998.12
6.2.7 N O T E	7p	1998.12
6.2.8 P R I C E	2p	1998.12
6.3 変遷ブロック	1p	1998.03
6.3.1 F I D	1p	1998.03
6.3.2 B H N T	2p	1998.03
6.4 リンクブロック	1p	1998.03
6.4.1 P T B L	1p	1998.03
6.4.2 A L		
6.4.3 U T	1p	1998.03
6.5 主題ブロック		

第7章 洋雑誌書誌レコード	2p	1998.03	
7.0 通則	4p	1998.03	
7.0.1 タイトル変遷	4p	1998.03	
7.0.2 複製資料	2p	1998.03	
7.0.3 総称のタイトル	2p	1998.03	
7.1 ID&コードブロック			
7.2 記述ブロック			
7.2.1 TR	9p	1998.03	
7.2.2 ED	4p	1998.03	
7.2.3 VLYR	5p	1998.03	
7.2.4 PUB	5p	1998.03	
7.2.5 PHYS	3p	1998.03	
7.2.6 VT	5p	1998.03	
7.2.7 NOTE	6p	1998.03	
7.2.8 PRICE	1p	1998.03	
7.3 変遷ブロック			
7.4 リンクブロック			
7.5 主題ブロック			
第8章 著者名典拠レコード（日本名：個人名）	1p	1998.03	
8.0.2 日本名，日本名以外	1p	1998.03	
8.1.1 ID	1p	1998.03	
8.1.2 MARCFLG	1p	2015.08 変更	 変更
8.2.1 HDNG	13p	1998.03	
8.3.1 TYPE	1p	1998.03	
8.3.2 UNID	1p	1998.03	
8.3.3 PLACE	3p	1998.03	
8.3.4 DATE	2p	1998.03	
8.4.1 SF	4p	1998.03	
8.4.2 SAF	3p	1998.03	
8.5.1 NOTE	4p	1998.03	
第9章 著者名典拠レコード（日本名：団体名）	1p	1998.03	
9.1.1 ID	1p	1998.03	
9.1.2 MARCFLG	1p	2015.08 変更	 変更
9.2.1 HDNG	12p	1998.03	
9.3.1 TYPE	1p	1998.03	
9.3.2 UNID	1p	1998.03	
9.3.3 PLACE	3p	1998.03	
9.3.4 DATE	2p	1998.03	
9.4.1 SF	3p	1998.03	
9.4.2 SAF	3p	1998.03	
9.5.1 NOTE	2p	1998.03	
第10章 著者名典拠レコード（日本名：会議名）	1p	1998.03	
10.1.1 ID			
10.3.1 TYPE	1p	1998.03	
10.3.2 UNID			
10.3.3 PLACE			
10.3.4 DATE	2p	1998.03	
10.4.1 SF			

変更

変更

10.4.2	SAF		
10.5.1	NOTE		
第 11 章	著者名典拠レコード（日本名以外：個人名）		
第 12 章	著者名典拠レコード（日本名以外：団体名）	1p	1998.12
12.1.1	ID	1p	1998.12
12.1.2	MARCF LG	1p	2015.08 変更
12.2.1	HDNG	3p	1998.12
12.3.1	TYPE	1p	1998.12
12.3.2	UNID	1p	1998.12
12.3.3	PLACE	1p	1998.12
12.3.4	DATE	1p	1998.12
12.4.1	SF	2p	1998.12
12.4.2	SAF	2p	1998.12
12.5.1	NOTE	2p	1998.12
第 13 章	著者名典拠レコード（日本名以外：会議名）		
第 14 章	統一書名典拠レコード（日本名）	1p	1998.03
14.0.1	日本名，日本名以外	2p	1998.03
14.1.1	ID	1p	1998.03
14.1.2	MARCF LG	1p	2015.08 変更
14.2.1	HDNG	4p	1998.03
14.3.1	UNID	1p	1998.03
第 15 章	統一書名典拠レコード（日本名以外）		
第 16 章	図書所蔵レコード	1p	1998.03
16.1.1	LOC	2p	1998.03
16.2.1	VOL		
16.2.2	CLN	2p	1998.03
16.2.3	RG TN	1p	1998.03
16.2.4	CPYR	2p	1998.03
16.2.5	LDF	2p	1998.03
16.2.6	CPYNT		
16.3.1	LTR	1p	1998.03
第 17 章	雑誌所蔵レコード	1p	1998.03
17.2.1	HL YR	4p	1998.03
17.2.2	HL V	13p	1998.03
17.2.3	CONT	1p	1998.03
17.2.4	CLN	1p	1998.03
17.2.5	LDF	1p	1998.03
17.2.6	CPYNT		

第Ⅱ部 レコード修正

第 20 章	レコード修正総則		
第 21 章	図書書誌レコード修正	1p	1998.03
21.0	図書書誌レコード修正指針	5p	1998.03
21.1	図書書誌レコード修正 修正事項一覧	16p	1998.03
第 22 章	洋図書書誌レコード		
第 23 章	雑誌書誌レコード修正	1p	1998.03

このマニュアルについて

「コーディングマニュアル」は、総合目録データベースのそれぞれのファイルにレコードを登録する際の、データ記入の具体的方法を解説するものである。

〔刊行の目的〕

「コーディングマニュアル」は、「目録情報の基準」に従って実際にレコード登録を行う際の、データ記入の標準化をはかるために提供される。

「目録情報の基準」は総合目録データベース形成のための基本原理を提示するものであるが、レコード登録にあたっては、「目録情報の基準」の具体的運用方法を示すマニュアルの刊行を望む声が以前から上がっていた。

また、「目録情報の基準」は「目録規則」レベルで機能すべきものであり、「目録規則適用細則」レベルのマニュアルに対する要望も多い。

このマニュアルの公刊によって、データ記入時における総合目録データベースの品質管理の向上が期待されるところである。

〔構成と内容〕

第Ⅰ部 データ記入

個々のレコードのデータ記入の方法を、フィールド単位及びデータ要素単位で解説する

第Ⅱ部 レコード修正

それぞれのファイルごとに、既存レコードのレコード修正を行う場合の注意事項を解説する

第Ⅲ部 流用入力

それぞれのファイルごとに、参照ファイル中のレコードから流用入力を行う場合の注意事項を解説する

第Ⅳ部 参照ファイル

それぞれの参照ファイルごとに、MARCから参照ファイルへのフォーマット変換の仕組みを解説する

また、それぞれのMARCについて、フォーマット等の改訂に対する学術情報センターの対応方針を示す

第Ⅴ部 目録規則、目録規則適用細則

データ記入の際準拠すべき目録規則及び目録規則適用細則について、「目録情報の基準」との関係を示す

また、それぞれの目録規則について、任意規定・別法の採否等を示す

〔刊行方式と改訂作業〕

「コーディングマニュアル」は、「オンライン・システムニュースレター」の付録として、各項目ごとに逐次刊行される。

「コーディングマニュアル」の刊行は、当該項目の完成順に行われる。

「コーディングマニュアル」は、システムの拡充、目録規則の改訂等、様々な理由によって、項目の改廃、追加等が行われることがある。

「コーディングマニュアル」の改訂は、以下の手順で行われる。

1) 改訂の予告

改訂の必要が生じた場合は、まず NACSIS-CAT/ILL ニュースレターに改訂内容の概略を掲載する

このとき同時に、改訂の理由、改訂部分の適用開始時期等を報知する

2) 改訂部分の刊行

改訂部分は、新規刊行部分と合わせて、NACSIS-CAT/ILL ニュースレターの付録として、各項目毎に刊行する

このとき、当該頁には改訂の日時を記載し、さらに欄外に縦線を引くことによって改訂箇所を明示する（ただし、〔照会先〕の改訂を除く）

3) 改訂部分の差替え

改訂頁を受け取った目録担当者は、当該頁を改訂前の頁と差し替えることによって、常にマニュアルを最新の状態に保つことができる

なお、改訂前の頁は以後廃版とし、一切の適用を行わないこととする

ただし、1998年3月に全面的な改訂を行い、全頁について差替えが必要となったため、それ以前の改訂箇所については明示しないこととした。

ただし、マニュアルにおいて「学術情報センター」「センター」とある部分は、「国立情報学研究所」と読み替えることとする。

〔照会先〕

このマニュアルの内容等に関する照会先は、次のとおりである。

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 CAT/ILL 担当

TEL:03-4212-2310

FAX:03-4212-2375

E-mail:catadm@nii.ac.jp

変更

変更

追加

追加

変更

改訂履歴

〔コーディングマニュアルの改訂〕

「コーディングマニュアル」の改訂は、その内容によって3種類に分けられる。

1) 変更

項目の見直しの結果として、条文等の記述内容を変更する場合

2) 追加

項目の見直しの結果として、新たな条文等を追加する場合

3) 削除

項目の見直しの結果として、条文等を削除する場合

〔改訂箇所の明示〕

改訂頁の最下段には、改訂日時及び改訂種別を明示する。

また、必要に応じて、改訂箇所の欄外に縦線を引き、当該箇所の改訂日時及び改訂種別を明示する。

ただし、1998年3月より前の時点で行われた改訂については、改訂箇所を明示しない。

《注意事項》

「コーディングマニュアル」の既刊行頁は、必要に応じて、項目ごとに増刷される。

このとき、表記方法の統一等の理由により、語句の訂正等が行われることがあるが、訂正内容が微細であれば、改訂箇所の明示は行わない。ただし、語句の訂正等により条文等の記述内容が著しく改まる場合は、改訂箇所の明示を行う。

〔改訂内容〕

以下では、累積版刊行時（1998年3月）に改訂が行われた箇所について、改訂箇所の項目順（及び頁順）に、改訂内容の概要を示す。

このマニュアルについて

累積版刊行前の改訂箇所の取り扱いについて説明を加えた。

照会先の改訂について例外とした。

旧称の読み替えについて明示した。

追加

0. 1. 2

和洋ファイルの統合に伴い、条文等の変更を行なった。

〔改訂内容〕（続）

0. 4 C 1. 1

正確を期するため、条文の修正を行った。

0. 4. 1 D

VOL分割廃止に伴い、一部条文を削除した。

0. 4. 2 B 2. 1

不適切な例を削除した。

0. 4. 2 B 7

不要な条文を削除した。

0. 4. 4 B 3

不要な条文を削除した。

第1章

現行の目録規則の条項番号を対応させた。

1. 0. 2 C

条文の不足を補った。また、一部語句を修正した。

1. 1. 1 A

準拠する文字セットを修正した。

1. 1. 1 B, 1. 1. 1 C

和洋ファイルの統合に伴い、一部語句を修正した。

第2章

和洋ファイルの統合に伴い、一部語句を修正した。
現行の目録規則の条項番号を対応させた。

2. 0 A

和洋ファイルの統合に伴い、一部語句を修正した。

1. 0. 2 C〔区切り記号の使用法〕（続）

(6) スペース，イコール，スペース（ $\Delta=\Delta$ ）

次のフィールドにおいて，それぞれのデータ要素の直前に，スペース，イコール，スペースを記入する。

- | | | |
|---------------|-------|----------------|
| 1) TR（書誌） | …………… | 並列タイトル |
| 1)' TR（書誌） | …………… | 並列タイトルのヨミ |
| 2) ED（書誌） | …………… | 並列版表示 |
| 3) CW（図書書誌） | …………… | 並列タイトル |
| 3)' CW（図書書誌） | …………… | 並列タイトルのヨミ |
| 4) PTBL（図書書誌） | …………… | 中位の書誌単位の並列タイトル |
| 5) VLYR（雑誌書誌） | …………… | 別形式の巻次・年月次表示 |

追加

変更

(6)' スペース，イコール，スペース，スラッシュ，スペース（ $\Delta=\Delta/\Delta$ ）

次のフィールドにおいて，それぞれのデータ要素の直前に，スペース，イコール，スペース，スラッシュ，スペースを記入する。

- | | | |
|---------------|-------|----------------|
| 1) TR（書誌） | …………… | 並列責任表示 |
| 2) ED（書誌） | …………… | 並列責任表示 |
| 3) CW（図書書誌） | …………… | 並列責任表示 |
| 4) PTBL（図書書誌） | …………… | 中位の書誌単位の並列責任表示 |

追加

変更

ただし，1)～4)は，責任表示のみが並列する場合に限る。

(7) スペース，プラス，スペース（ $\Delta+\Delta$ ）

書誌レコードのPHYSフィールドにおいて，付属資料の直前に，スペース，プラス，スペースを記入する。

(8) 丸括弧（（ ））

次のフィールドにおいて，それぞれのデータ要素を，丸括弧で括る。

- | | | |
|----------------|-------|-----------|
| 1) PRICE（書誌） | …………… | 説明語句 |
| 2) PUB（書誌） | …………… | 製作等に関する事項 |
| 3) HLV（雑誌所蔵） | …………… | 不完全巻の所蔵号次 |
| 4) HDNG（著者名典拠） | …………… | 付記事項 |
| 5) SF（著者名典拠） | …………… | 付記事項 |
| 6) SAF（著者名典拠） | …………… | 付記事項 |

1. 0. 2 C〔区切り記号の使用法〕（続）

(8)' スペース，丸括弧（△（ ））

次のフィールドにおいて，それぞれのデータ要素を，スペース，丸括弧で括る。

- 1) A L（書誌）…………… その他の情報
- 2) V L Y R（雑誌書誌）…………… 年月次表示

ただし，1)は，著者標目が会議名の場合に限る。

変更

(9) スペース（△）

書誌レコードのY E A Rフィールドにおいて，刊年2の直前に，スペースを1つ記入する。

(10) ハイフン（－）

次のフィールドにおいて，それぞれのデータ要素の直前に，ハイフンを1つ記入する。

- 1) V L Y R（雑誌書誌）…………… 終号の巻次表示
- 2) D A T E（個人名著者名典拠）…………… 没年
- 3) D A T E（団体名著者名典拠）…………… 廃止年

(10)' スペース，ハイフン，ハイフン，スペース（△－△）

書誌レコードのS Hフィールドにおいて，細目の直前に，スペース，ハイフン2つ，スペースを記入する。

変更

(11) スペース，不等号，スペース（△＜ ＞△）

次のフィールドにおいて，それぞれのデータ要素を，スペース，不等号，スペースで括る。

- 1) A L（書誌）…………… リンク先著者名典拠レコードID
- 2) P T B L（図書書誌）…………… リンク先親書誌レコードID
- 3) U T L（図書書誌）…………… リンク先統一書名典拠レコードID
- 4) S A F（典拠）…………… リンク先典拠レコードID

1. 1. 1 目録システム用文字セットと目録用言語

1. 1. 1 A〔目録システム用文字セット〕

目録システムにおいて使用可能な文字セット（目録システム用文字セット）は、次のとおりである。

- 1) NVT 1 バイトコード文字セット
- 2) NVT 2 バイトコード文字セット

1)は、「JIS X 0201:1997」に準拠した文字セットである。

2)は、「JIS X 0208:1997」に準拠した文字セットである。

さらに、2)には、「E X C」が含まれる。E X C (Extended character set) は、国立情報学研究所が独自に定めた文字セットである。

変更

1. 1. 1 B〔目録用言語〕

目録用言語の選択は、レコード登録の際準拠すべき目録規則に従う。

それぞれのレコードと目録用言語の関係は、次のとおりである。

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1) 和図書書誌 | 日本語 |
| 2) 洋図書書誌 | 英語 |
| 3) 和雑誌書誌 | 日本語 |
| 4) 洋雑誌書誌 | 英語 |
| 5) 著者名典拠（日本名） | 日本語 |
| 5)' 著者名典拠（日本名以外） | 英語（又は日本語） |
| 6) 統一書名典拠（日本名） | 日本語 |
| 6)' 統一書名典拠（日本名以外） | 英語（又は日本語） |
| 7) 所蔵（図書／雑誌） | 各参加組織が定めた言語 |

和書誌レコード、及び日本名典拠レコードにおいては、目録用言語として日本語を用いる。

洋書誌レコードにおいては、目録用言語として英語を用いる。

日本名以外の典拠レコードにおいては、目録用言語として英語を用いることを原則とする。

所蔵レコードにおいては、目録用言語は、各参加組織が自由に定める。

1. 1. 1 C（選択事項）

~~洋書誌レコード、及び~~日本名以外の典拠レコードにおいて、目録用言語として日本語を用いることができる。

目録用言語として日本語を用いるか否かは、各参加組織が自由に選択する。

第2章 和図書書誌レコード

この章では、和図書として扱うべき単行書誌単位のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

第3章から第7章で規定する事項のうち、この章と共通するものについては、それぞれの章でさらに別の規定が示されていない限り、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との対応関係〕

それぞれのフィールドにデータ記入を行う際に準拠すべき「日本目録規則1987年版改訂3版」（以下NCR87R3という）の条項番号を、以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

番号を丸括弧で括弧であるものは、参照すべき条項であるが、当該条項に準拠するわけではないことを示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従うことに注意する必要がある。（⇒第50章、第51章）

2.0.1	固有のタイトル	—
2.0.2	書誌構造	—
2.0.3	出版物理単位	(1.10)
2.0.4	複製・原本代替資料	1.0.3.1A
2.0.5	付属資料	1.5.4
2.0.6	更新資料	13
2.1.1	I D	—
2.1.2	M A R C F L G	—
2.1.3	G M D	(1.1.2, 2.1.2)
2.1.4	S M D	(1.1.2, 2.1.2)
2.1.5	Y E A R	—
2.1.6	C N T R Y	—
2.1.7	T T L L	—
2.1.8	T X T L	—
2.1.9	O R G L	—
2.1.10	R E P R O	—
2.1.11	V O L	1.10
2.1.12	I S B N	1.8.1, 2.8.1
2.1.13	P R I C E	1.8.3, 2.8.3

変更

〔目録規則との対応関係〕（続）

2.1.14 X I S B N	1.8.1, 2.8.1
2.1.15 I S S N	1.6.5, 1.8.1, 2.6.5
2.1.16 N B N	1.8.1
2.1.17 N D L C N	1.8.1
2.1.18 G P O N	1.8.1
2.1.19 O T H N	1.8.1
2.2.1 T R	1.1, 2.1, 22
2.2.2 E D	1.2, 2.2
2.2.3 P U B	1.4, 2.4
2.2.4 P H Y S	1.5, 2.5
2.2.5 V T	(1.7, 2.7), 22, 26
2.2.6 C W	(1.7, 2.7)
2.2.7 N O T E	1.7, 2.7
2.3.1 P T B L	1.1, (1.6), 2.1, 13.1, 22, 26
2.3.2 A L	23
2.3.3 U T L	26, 付録4
2.4.1 C L S	25
2.4.2 S H	24

2. 1 ID&コードブロック

2. 1 A 〔構成と内容〕

ID&コードブロックは、次の2種類のフィールド群で構成される。

- 1) コード化情報を記録するフィールド
- 2) 出版物理単位に関する情報を記録するフィールド

1は、書誌レコードを構成する特定の情報を、コード化して記録するために設けられたフィールド群である。

それぞれのフィールドに記録される情報は、特定のコード表等に基づいている。

このグループには、次の17種類のフィールドが該当する。

ID, MARCFLG, GMD, SMD, YEAR, CNTRY, TTLL, TXTL,
ORGL, REPRO, ISBN, XISBN, ISSN, NBN, NDLCN,
GPON, OTHN

変更

2は、レコード作成の単位とはならない出版物理単位の目録対象資料について、物理単位ごとに固有の情報を記録するために設けられたフィールド群である。

それぞれのフィールドに記録される情報は、物理単位によって異なる。

このグループには、次の4種類のフィールドが該当する。

VOL, ISBN, PRICE, XISBN

2. 1 B 〔データ記入〕

コード化情報を記録するフィールドにおいては（ただし、IDフィールド及びMARCFLGフィールドを除く）、データ記入は、目録対象資料の最新の情報に基づいて行う。

変更

コード化情報を記録するフィールドのうちIDフィールド及びMARCFLGフィールドにおいては、データ記入は、目録システムが行う。

変更

出版物理単位に関する情報を記録するフィールドにおいては（ただし、ISBNフィールド、PRICEフィールド及びXISBNフィールドを除く）、データ記入は、目録対象資料が最初に刊行された時点の情報に基づいて行う。

2. 1 C 《注意事項》

一部のコード化情報については、ID&コードブロックの対応するフィールドにデータ記入を行うほか、記述ブロックの特定のフィールドに、コード化する以前の形を記録する。（より正確には、記述ブロックの特定のフィールドに記録した情報を、コード化して、さらにID&コードブロックの対応するフィールドに記録する）

2. 1. 2 MARCFLG

変更

2. 1. 2 A [形式]

MARCFLG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	自動付与	可変長	7バイト	1

変更

2. 1. 2 B [フィールド内容とデータ要素]

MARCFLGフィールドには、流用元参照レコードに対して定期更新時に何らかの修正が行われたことを示す英字7桁から成るコードが、データ要素として記録される。

変更

2. 1. 2 C [データ記入及び表示例]

変更ありフラグは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録作成者が入力することはできない。

なお、変更ありフラグが表示されているレコードに対してEDITコマンドが発行された場合は、登録コマンド発行後、目録システムはMARCFLGフィールドの表示を行わなくなる。当該レコードに対して再度変更ありフラグが表示されるのは、流用元参照レコードに対して再び修正が行われた場合のみである。

変更

MARCFLG:arrived
(流用元参照レコードに対してレコード修正が行われた場合)

変更

MARCFLG:deleted
(流用元参照レコードが削除された場合)

変更

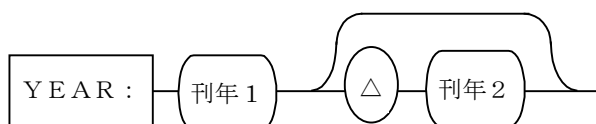
流用元参照レコードに対して修正が行われていない場合は、このフィールド自体表示されない。

2. 1. 5 YEAR

2. 1. 5 A〔形式〕

YEAR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
刊年1, 刊年2	必須2	可変長		1
刊年1	(必須1)	(固定長)	(4バイト)	
刊年2	(必須2)	(固定長)	(4バイト)	

2. 1. 5 B〔記述文法〕



2. 1. 5 C〔フィールド内容とデータ要素〕

C 1

YEARフィールドには、出版・頒布等の日付（PUB）に対応する日付をコード化して記録する。
 ただし、原本代替資料の場合は、PUBフィールドに対応する日付ではなく、原本の出版・頒布等の日付をコード化して記録する。

YEARフィールドに記録されるデータ要素は、刊年1、及び刊年2である。

刊年1には、主たる出版・頒布等の日付に対応する西暦年を記録する。

刊年2には、その他の出版・頒布等の日付に対応する西暦年を記録する。

C 2

YEARフィールドは、目録対象資料の刊行年による検索、統計処理等を可能にするために設けられたフィールドである。

出版・頒布等の日付は、PUBフィールドに記録されるが、データとして様々な文字列の出現が予想され、データ処理上問題がある。そこで、出版・頒布等の日付とは別に、当該データ内容をコード化しYEARフィールドに記録する。

2. 1. 5 D〔データ記入及び記入例〕

D 1

刊年 1，及び刊年 2 には，4 桁の西暦年を記入する。

刊年 1 と刊年 2 の間には，1 桁のスペースを記入する。

出版年不明の場合は，推定できる範囲までは数字で記録し，推定不能箇所はハイフンを記入する。まったく推定不能の場合のみ 4 桁ともハイフン「----」を記入する。

変更

D 2

PUB フィールドに出版年が記録されている場合は，その出版年を記入する。

YEAR:1985

PUB:東京：創文社，1985.2

D 3

出版年が複数年にわたる場合は，出版・刊行開始の日付を刊年 1 に，終了年を刊年 2 に記入する。

YEAR:1982 1987

PUB:東京：現代思潮社，1982-1987

D 4

PUB フィールドに出版年ではなく，著作権表示年，又は印刷年が記録されている場合は，それに対応する 4 桁の西暦年を記入する。

YEAR:1983

PUB:仙台：宮城県美術館，c1983

YEAR:1977

PUB:小原村(愛知県)：小原村，1977.3 印刷

2. 1. 5 D〔データ記入及び記入例〕（続）

D 5

出版・頒布等の日付が所定の情報源以外によって記録されている場合でも，刊年 1 及び刊年 2 にはそれに対応する 4 桁の西暦年を記入する。

YEAR:1856

PUB:[出版地不明]：[出版者不明]，1856 序

YEAR:1960

PUB:[大阪]：[人間関係調査研究会]，1960 はしがき

YEAR:1963

PUB:[出版地不明]：高橋写真製作所マクロ写真部，[1963?]

YEAR:19--

PUB:京都：山城屋佐兵衛，[大正年間]

YEAR:1---

PUB:東京：出雲寺万次郎，[明治年間]

YEAR:197- 1983

PUB:東京：内政史研究会，[197-]-1983.3

2. 1. 5 E《注意事項》

E 1

刊年 1，及び刊年 2 には，出版・頒布等の日付に記録される日付に対応する 4 桁の西暦年以外の数字を記入してはならない。

E 2

刊年 2 には，刊行終了の日付に対応する 4 桁の西暦年のみを記入する。

刊年 2 に，著作権表示年，原本の出版年・頒布年等を記入してはならない。

出版が開始された年内に出版・頒布が終了した場合は，その同一西暦年を刊年 1 としても刊年 2 としても記入する。

YEAR:1983 1983

PUB:東京：講談社，1983.1-1983.10

追加

E 3

刊年 1 と刊年 2 の間には，スペース以外の文字を記入してはならない。

〔関連項目〕

2. 2. 3 PUB

2. 2. 3 F〔データ記入及び記入例〕（続）

F 1（出版地、出版者等）（続）

F 1. 8

古写本等の場合、N C R 8 7 R 3. 4. 2. 2A(記録の方法)の規定により、書写者は記録しない。必要に応じてNOTEフィールドに記録することができる。なお、書写者が転写者である場合は、書写者の後に「[写]」という用語を付して記録する。

F 2（出版年等）

F 2. 1

複数の出版物理単位から成る資料の場合に、出版年が2年以上にわたるときは、刊行開始年と刊行終了年をハイフン（－）で結んで記録する。刊行中のときは開始年を記録し、ハイフン（－）を続ける。出版年が1年の中に収まる場合は、その年のみを記録する。

VOL:上

VOL:下

PUB:東京：東京創元社，1990

F 2. 2

古刊本、古写本等の場合、N C R 8 7 R 2. 4. 3. 2A 別法(記録の方法)，並びに 3. 4. 3. 2A 別法(記録の方法)を採用し、表示されている出版年をそのまま記録し、西暦紀年をその後に補記する。

2. 2. 3 G〔フィールドの繰り返し〕

出版地、頒布地と出版者、頒布者ないしは製作地と製作者が対となっている場合は、それぞれの対ごとにPUBフィールドを作る。その組合せが複数ある場合は、PUBフィールドを繰り返す。

2. 2. 3 H（選択事項）

H 1

出版年、頒布年等については、月まで記録することができる。この際、出版年、頒布年等の後にピリオドを付して記録する。出版年が1年の中に収まる場合でも、月まで記録する場合には刊行開始年月と終了年月をハイフン（－）で結んで記録することができる。

PUB:東京：講談社，1990.1-1990.5

H 2

2番目以降の出版者、頒布者等を記録する際にはNOTEフィールドにではなく、PUBフィールドに記述文法に従ってフィールドを繰り返して記録する。参照レコード等から流用入力を行う場合は、この部分についての修正を行うかどうかは、インデックスを抽出するかどうかにより判断する。

PUB:東京：講談社，1994.3

NOTE:共同刊行：講談社インターナショナル

変更

2.2.3.1 《注意事項》

I 1

一つのPUBフィールドに、出版地、頒布地等と出版者、頒布者等の対を繰り返して記録してはならない。繰り返し記録すると、「出版者；頒布地」の部分が一つの出版者名とみなされて、頒布地に対する検索キーが正しく作成されない。

(誤) PUB:東京：国立国会図書館；東京：紀伊国屋書店(発売)，1989

(正) PUB:東京：国立国会図書館

PUB:東京：紀伊国屋書店(発売)，1989

I 2

記述の基盤とした出版物理単位の情報源に表示されていない出版に関する事項を記録してはならない。
例として、次のものがある。

- 1) 複数の出版物理単位から成る資料の場合、最初に刊行された資料（又は入手可能なもののうちの最初に刊行された資料）以外の巻次に表示されている異なる出版に関する事項
- 2) 同時に別の出版者から刊行された資料に表示されている出版に関する事項

1)については、NOTEフィールドに当該出版事項を記録する。(⇒2.2.7 NOTE)

PUB:福岡：福岡国税局総務部調査統計課，1971.6-

NOTE:昭和59年度以降の出版者：福岡国税局総務部企画課

2)については、別書誌を作成する。(⇒0.4.1 新規レコード作成の指針，図書書誌レコード)

〔関連項目〕

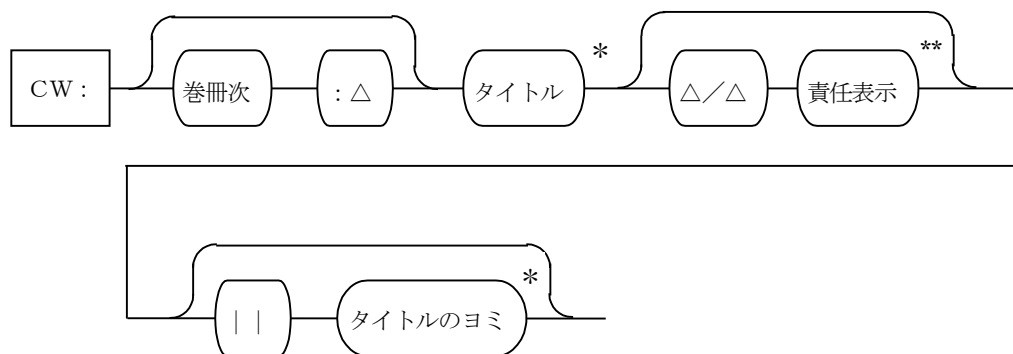
- 0.4.1 新規レコード作成の指針，図書書誌レコード
- 2.1.5 YEAR
- 2.2.7 NOTE

2.2.6 CW

2.2.6A〔形式〕

CW	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
内容著作注記	選択	可変長		128
巻冊次	(必須2)		}1024 バイト	
タイトル	(必須1)			
責任表示	(選択)		256 バイト	
タイトルのヨミ	(選択)		256 バイト	

2.2.6B〔記述文法〕



*タイトル関連情報等を伴う場合は、TRフィールドの記述文法に準じて展開する。(⇒2.2.1 TR)

**2番目以降の責任表示を伴う場合は、TRフィールドの記述文法に準じて展開する。(⇒2.2.1 TR)

2.2.6C〔フィールド内容とデータ要素〕

C1

CWフィールドには、構成部分である著作単位について、巻冊次、タイトル、責任表示及びタイトルのヨミをデータ要素として記録する。

C2

巻冊次には、出版物理単位の呼称を記録する。

タイトルには、構成部分である著作単位のタイトルを記録する。

責任表示には、当該タイトルにかかわる責任表示を記録する。

タイトルのヨミには、当該タイトルのヨミを記録する。

2.2.6D〔データ記入及び記入例〕

D1

タイトルと責任表示の間には、スペース，スラッシュ，スペース（△／△）を記録する。
 タイトルまたは責任表示とタイトルのヨミの間には、ストローク2つ（||）を記録する。

TR:ヘンリー・ジエイムズ 短篇集 / ヘンリー・ジエイムズ [著] ; 大津栄一郎編訳 ||ヘンリー・ジエイムズ タンペ ンシュウ
 PHYS:324p ; 15cm
 CW:私的生活 ||シテキ セイカツ
 CW:もうひとり ||モウヒトリ
 CW:にぎやかな街角 ||ニギヤカ マチカド
 CW:荒涼のベンチ ||コウリョウ ノ ベンチ

TR:朝鮮短篇小説集 / 青山英雄訳注 ||チョウセン タンペン ショウセツシュウ
 PHYS:v, 197p ; 19cm
 CW:幸福な日 / 玄鎮健著 ||コウフナ ヒ
 CW:さつまいも / 金東仁著 ||サツマイモ
 CW:福德房 / 李泰俊著 ||フクトクボウ
 CW:滄浪亭記 / 愈鎮午著 ||ソウラウテイキ

D2

巻冊次は、当該巻冊次に対応する一番最初の著作単位を記録するフィールドの先頭に記入する。
 このとき、VOLフィールドに記録した巻冊次の名称を、CWフィールドに記入する。
 巻冊次とタイトルの間には、コロン，スペース（:△）を記録する。

責任表示がない場合

VOL:1
 VOL:2
 TR:詩歌ノート / 北原白秋著 ||シカ ノート
 PHYS:2 冊 ; 21cm
 CW:1: 邪宗門ノート ||ジャシュモン ノート
 CW:思ひ出ノート ||オモイデ ノート
 CW:2: 黒い皮ノート ||クロイ カリ ノート
 CW:桐の花ノート ||キリ ノ ハナ ノート
 CW:三崎ノート ||ミサキ ノート

変更

2. 2. 6 D〔データ記入及び記入例〕（続）

VOL:第1巻
VOL:第2巻
VOL:第3巻
VOL:第4巻
VOL:第5巻
VOL:第6巻
TR:藤田東湖全集 / 高須芳次郎編||フシタ トウコ センシュウ
PHYS:6冊 ; 21cm
CW:第1巻: 回天詩史||カイテン シ
CW:常陸帯||ヒガチ オビ
CW:第2巻: 弘道館記述義||コウトウカンキ シュツギ
CW:第3巻: 東湖詩歌集||トウコ シカシュ
CW:第4巻: 隨筆小品集||ズイヒツ ショウヒンシュウ
CW:第5巻: 東湖書翰集||トウコ ショカンシュウ
CW:第6巻: 東湖封事集||トウコ フウシシュウ

責任表示がある場合

VOL:1
VOL:2
VOL:3
TR:印度の仏教 / 中村元 [ほか] 編||インド ノ ブツキョウ
PHYS:3冊 ; 22cm
CW:1: 原始仏教思想論 / 木村泰賢著||ゲンシ ブツキョウ ショウロン
CW:根本仏教 / 柿崎正治著||コンボン ブツキョウ
CW:2: 「印度哲学研究」の諸編 / 宇井伯寿著||「インド テツガク ケンキュウ」ノ ショヘン
CW:小乗仏教思想論 / 木村泰賢著||ショウジョウ ブツキョウ ショウロン
CW:3: 般若思想史 / 山口益著||ハンニヤ ショウシ
CW:仏教小史 / 藤井正著||ブツキョウ ショウシ
CW:仏陀時代 / 増谷文雄著||ブツダ ジダイ

D 3

タイトル関連情報，並列タイトル，並列責任表示を伴う場合は，タイトルと並列タイトル，責任表示と並列責任表示とをそれぞれひとまとまりとし，間にスラッシュ（/）を記録する。タイトルと並列タイトル，責任表示と並列責任表示との間には，イコール（=）を記録する。

TR:技術・魔術・科学 / 坂本賢三 [ほか] 著||ギジユツ・マジユツ・カガク
PHYS:375p ; 22cm
CW:人間と技術 : 技術の発生と展開 / 坂本賢三著||ニンゲン ト ギジユツ : ギジユツ ノ ハッセイ ト テンカイ
CW:技術概念の成立 / 森俊洋著||ギジユツ カイネン ノ セリツ
CW:呪術・魔術の伝統 : プラトンの魔術 / 大沼忠弘著||ジュシユツ・マジユツ ノ テントウ : プラトン ノ マジユツ
CW:ヘルメス思想の源流 : 「アスクレピオス」の自然哲学とその周辺 / 柴田有著||ヘルメス ショウ ノ ゲンリ ュウ : 「アスクレピオス」ノ シゼン テツガク ト ソノ シュウヘン
CW:憂国 = Patriotism / 三島由紀夫 [著] = Yukio Mishima||ウコク = Patriotism

追加

追加

2.2.6 D [データ記入及び記入例] (続)

D 4

2 番目以降の責任表示を伴う場合は、TR フィールドの記述文法に準じて展開する。(⇒ 2.2.1 TR)

TR: スイス十九世紀短篇集 / スイス文学研究会編 || スイス シュウク セイ タンペンシュウ
 PHYS: 343p ; 20cm
 CW: 奇妙な下女エルゼー / J. コットヘルツ著 ; 田中泰三訳 || キミョウナ ケシヨ エルゼー
 CW: ハートラウフ / G. ケー著 ; 石井不二雄訳 || ハートラウフ
 CW: ペスカラの誘惑 / C.F. マイヤ著 ; 堀内明訳 || ペスカラ ノ ユウワク
 CW: 犬と猫 / C. シュビッテラー著 ; 増田義男訳 || イヌ ト ネコ

2.2.6 E [フィールドの繰り返し]

著作単位が複数ある場合は、CW フィールドをその数だけ繰り返し、それぞれのタイトル、責任表示、及びタイトルのヨミを記入する。

2.2.6 F 《注意事項》

F 1

当該巻冊次の「固有のタイトル」を CW フィールドに記録してはならない。(⇒ 2.0.2 固有のタイトル)

F 2

内容に関する注記事項のうち、著作単位のタイトル、責任表示に該当しないか、あるいは検索の必要がないものは NOTE フィールドに記録する。(⇒ 2.2.7 NOTE)

このようなものとして、次の例が考えられる。

- 1) 書誌、年譜、年表及び付録、解説等
- 2) 目録対象資料の解題・要旨等
- 3) 目録対象資料の利用対象等
- 4) 部編名に該当する名称を持つ構成部分、VOL フィールドに記録されなかった部編名等

(例) NOTE: 参考文献: p125~131

NOTE: フロイト年表・文献案内: p456~470

NOTE: 昭和 45 年 4 月 14 日~5 月 24 日、京都府立総合資料館で開催された「東寺百合文書展」の展示図録

NOTE: 第 1 巻: 明治 11 年~明治 20 年. 第 2 巻: 明治 21 年~明治 30 年. 第 3 巻: ...

2. 4. 2 F（選択事項）

F 1

件名作業を行うために使用する件名標目表，シソーラス等は，件名標目表の種類コード表に収録された標準的件名標目表，シソーラス等の範囲内で，各参加組織が自由に選択する。

F 2

記録する件名標目，ディスクリプタ等の数，形式等は，それぞれの件名標目表，シソーラス等における件名規程等に従う限りにおいて，各参加組織が自由に選択する。

F 3

件名の種類を記入するかどうかは，各参加組織が自由に選択する。

2. 4. 2 G《注意事項》

G 1

1つのSHフィールドに複数の件名標目，ディスクリプタ等を記入してはならない。

G 2

コロンの前後にスペースを記入してはならない。

G 3

細目が後続することを示す区切り記号は，使用する件名標目表，シソーラス等の違いにかかわらず，常にスペース，ハイフン，ハイフン，スペース（△ー△）を用いる。

たとえ当該件名標目表，シソーラス等の件名規程等において「△ー△」以外の区切り記号を用いる旨の指示がある場合でも，当該区切り記号を記入してはならない。

G 4

「／／」の前後に空白を記入してはならない。

G 5

件名のヨミについては，分かち書きを行わない。

SH:NDLSH:メディアアート||メディアアート//K

SH:BSH:マス・コミュニケーション||マス・コミュニケーション//K

追加

~~G 6~~

~~件名標目表の種類コード「F R E E」の使用法については，別途検討を行う。~~

削除

G 6

目録対象資料に付与すべき件名標目，ディスクリプタ等が固有名である場合の当該固有名の表記方式

変更

等については、別途検討を行う。

第4章 洋図書書誌レコード

この章では、洋図書として取り扱うべき単行書誌単位のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定していない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との対応関係〕

この章のそれぞれの項目において準拠すべき「英米目録規則第2版（1988年改訂，1993年修正，同2002年改訂）」（以下 AACR2，AACR2Amen93，AACR2R2002 という）の条項番号を以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

丸括弧内の番号は、参照すべきであるが準拠するわけではない条項を示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従う。（⇒第50章，第52章）

4.0	通則	1.0
4.0.1	固有のタイトル	—
4.0.2	書誌構造	—
4.0.3	出版物理単位	—
4.0.4	複製・原本代替資料	1.11
4.0.5	付属資料	1.5E, 1.9, 2.5E
4.0.6	更新資料	12
4.1.1	ID	—
4.1.2	MARCF LG	—
4.1.3	GMD	(1.1C, 2.1C)
4.1.4	SMD	(1.1C, 2.1C)
4.1.5	YEAR	—
4.1.6	CNTRY	—
4.1.7	T T L L	—
4.1.8	T X T L	—
4.1.9	O R G L	—
4.1.10	R E P R O	—
4.1.11	V O L	1.10, 2.10
4.1.12	I S B N	(1.8B, 2.8B)
4.1.13	P R I C E	1.8D, 2.8D
4.1.14	X I S B N	(1.8B, 2.8B)
4.1.15	I S S N	(1.6F, 1.6H4, 1.8B)

変更

〔目録規則との対応関係〕（続）

4.1.16	NBN	(1.8B3, 2.8B2)
4.1.17	LCCN	(1.8B3, 2.8B2)
4.1.18	GPON	(1.8B3, 2.8B2)
4.1.19	OTHN	(1.8B3, 2.8B2)
4.2.1	TR	1.1, 2.1, (1.0H)
4.2.2	ED	1.2, 2.2
4.2.3	PUB	1.4, 2.4
4.2.4	PHYS	1.5, 2.5
4.2.5	VT	(1.7, 1.8C, 2.7)
4.2.6	CW	(1.7, 2.7)
4.2.7	NOTE	1.7, 2.7
4.3.1	PTBL	1.1, (1.6), 2.1, 2.6, 12.1, 25
4.3.2	AL	(21), 22, 23, 24
4.3.3	UTL	(25)
4.4.1	CLS	—
4.4.2	SH	—

4. 1 ID&コードブロック

4. 1 A〔構成と内容〕

ID&コードブロックは、次の2種類のフィールド群で構成される。

- 1 コード化情報を記録するフィールド
- 2 出版物理単位に関する情報を記録するフィールド

1は、書誌レコードを構成する特定の情報をコード化して記録するために設けられたフィールド群である。

各フィールドに記録される情報は、特定のコード表等に基づいている。

このグループには、次の17種類のフィールドが該当する。

ID, MARCFLG, GMD, SMD, YEAR, CNTRY, TTLL, TXTL, ORGL, REPRO, ISBN, XISBN, ISSN, NBN, LCCN, GPON, OTHN

変更

2は、レコード作成の単位とはならない出版物理単位の目録対象資料について、物理単位ごとに固有の情報を記録するために設けられたフィールド群である。

各フィールドに記録される情報は、物理単位によって異なる。

このグループには、次の4種類のフィールドが該当する。

VOL, ISBN, PRICE, XISBN

4. 1 B〔データ記入〕

コード化情報を記録するフィールドにおいては（ただし、IDフィールド及びMARCFLGフィールドを除く）、目録対象資料の最新の情報に基づいてデータ記入を行う。

変更

コード化情報を記録するフィールドのうちIDフィールド及びMARCFLGフィールドにおいては、目録システムがデータ記入を行う。

変更

出版物理単位に関する情報を記録するフィールドにおいては（ただし、ISBNフィールド、PRICEフィールド及びXISBNフィールドを除く）、目録対象資料が最初に刊行された時点の情報に基づいてデータ記入を行う。

4. 1 C《注意事項》

一部のコード化情報については、記述ブロックの特定のフィールドに記録した情報をコード化して、ID&コードブロックの対応するフィールドに記録する。

4. 1. 2 MARCFLG

変更

4. 1. 2 A [形式]

MARCFLG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	自動付与	可変長	7バイト	1

変更

4. 1. 2 B [フィールド内容とデータ要素]

MARCFLGフィールドには、流用元参照レコードに対して定期更新時に何らかの修正が行われたことを示す英字7桁から成るコードが、データ要素として記録される。

変更

4. 1. 2 C [データ記入及び表示例]

変更ありフラグは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録作成者が入力することはできない。

なお、変更ありフラグが表示されているレコードに対してEDITコマンドが発行された場合は、登録コマンド発行後、目録システムはMARCFLGフィールドの表示を行わなくなる。当該レコードに対して再度変更ありフラグが表示されるのは、流用元参照レコードに対して再び修正が行われた場合のみである。

変更

MARCFLG:arrived

(流用元参照レコードに対してレコード修正が行われた場合)

変更

MARCFLG:deleted

(流用元参照レコードが削除された場合)

変更

流用元参照レコードに対して修正が行われていない場合は、このフィールド自体表示されない。

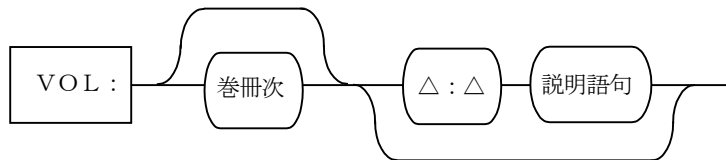
4. 1. 11 VOL

4. 1. 11 A〔形式〕

VOL	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
巻冊次等	必須2	可変長	256 バイト	255*
巻冊次	必須2			
説明語句	必須2			

*必ずISBNフィールド及びPRICEフィールドと一組にして繰り返す。

4. 1. 11 B〔記述文法〕



*スペースが先頭に来る場合、先頭のスペースは省略される。

4. 1. 11 C〔フィールド内容とデータ要素〕

VOLフィールドには、出版物理単位の巻冊次及び説明語句をデータ要素として記録する。

4. 1. 11 D〔データ要素の情報源〕

D 1 (巻冊次)

原則として、TRフィールドの規定の情報源と同じとする。

D 2 (説明語句)

どこからでもよい。目録担当者が任意の語句を補って記述する場合には、角括弧〔 〕に入れて補記する。

変更

4. 1. 11 E〔データ記入及び記入例〕

E 1 (巻冊次)

巻冊次には、出版物理単位として扱う個々の資料に付与された「巻次等」又は「部編名」を記録する。

(⇒「目録情報の基準 第3版」p.28-35)

VOL:Bd. 1

VOL:Bd. 2

VOL:A～Ca

VOL:Cb～D

⋮

VOL:Sa～Z

VOL:Text

VOL:Ergänzungsheft

TR:Die Geschichte der synoptischen Tradition / Rudolf Bultmann

VOL:To 1334

VOL:1334-1615

VOL:1615-1867

TR:A history of Japan / George Sansom

E 1. 1

巻次等の記述のうち、数字については、原則としてすべてアラビア数字に置き換える。ただし、それぞれ異なる字種等の数字の組み合わせによって構成されている場合は、この限りではない。

VOL:IV-2

E 1. 2

地名等が各巻の部編的な意味を持つと判断される場合は、これを「部編名」として扱う。

E 1. 3

複数の巻次等の組み合わせは、「巻次等」とみなす。

VOL:Ser. 1, no. 8

複数の部編名の組み合わせは、「部編名」とみなす。

VOL:Asia. Singapore, 1871.1 thru 1931.1

VOL:Asia. Indonesia, 1930.1 thru 1930.5

VOL:Asia. Philippines, 1903.4 thru 1918.2

TR:International population census publications

F 1 (本タイトル) (続)**F 1. 5**

総合タイトルと個々の著作のタイトルの双方がタイトルページに表示されている場合にどちらを本タイトルとするかは、「基準」で規定されている図書書誌レコードの作成単位によって判断する。(⇒「基準」4. 2. 3 図書書誌レコードの作成単位)

これに関わる AACR 2 の 2. 1 B 2 は、日本語版刊行の後の改訂によって削除されたが、その内容は改訂後の 1. 1 B 1 0 に盛り込まれた。

AACR 2 rev.ed. 1982 1. 1 B 1 0

主情報源に総合タイトルと個々の著作のタイトルの双方がある場合には、総合タイトルを本タイトルとして記録し、個々の著作のタイトルは内容注記に記録する(1. 7 B 1 8 を見よ)。

(例示省略)

このとき、総合タイトルが集合書誌単位の本タイトル(又は中位の書誌のタイトル)に該当しなければ、AACR 2 の 1. 1 B 1 0 の指示に従い、総合タイトルを本タイトルとして TR フィールドに記録し、個々の著作のタイトルは CW フィールドに記録する。(⇒ 4. 2. 6 CW)

TR:Œuvres de Dante Alighieri

CW:La divine comédie / traduction de A. Brizeux

CW:La vie nouvelle / traduction de E.-J. Delécluze

一方、総合タイトルが集合書誌単位の本タイトル(又は中位の書誌のタイトル)に該当する場合は、AACR 2 の 1. 1 B 1 0 の指示によらずに、総合タイトルを親書誌のタイトルとして PTBL フィールドに記録し、個々の著作のタイトルを本タイトルとして TR フィールドに記録する。(⇒ 4. 3. 1 PTBL)

TR:Impacts on nutrition and health / volume editor, Artemis P. Simopoulos

PTBL:World review of nutrition and dietetics <BA00907569> v. 65//a

F 2 (一般資料表示)

資料種別はコード化して GMD フィールド並びに SMD フィールドに記録する。(⇒ AACR 2 1. 1 C, 及び 2. 1 C の任意規定)

F 3 (並列タイトル)

並列タイトルの記録に際しては、以下の F 3. 1 ~ F 3. 4 に示す例外を除き、AACR 2 の規則 1. 1 D 及び 2. 1 D に準拠する。

F 3. 1

AACR 2 の 1. 1 D 2 によって第 2 レベルの記述を作成する場合は日本語を優先する。すなわち、最初の並列タイトルを記録した後に、2 番目以降の日本語で書かれた並列タイトルがあるときには、それも記録する。

TR:Poupées japonaises = Dolls of Japan = 日本人形 || Poupées japonaises = Dolls of Japan = ニホンニンギョウ

変更

F 3（並列タイトル）（続）

F 3. 1（続）

これに関わるAACR 2の規則1. 1 D 2は、日本語版刊行の後に次のとおり改訂された。

AACR 2 1988 Revision 1. 1 D 2 第1段落

第2レベルの記述（1. 0 D 2を見よ）を作成する場合は、最初の並列タイトルを記載する。2番目以降の英語で書かれた並列タイトルはそれも記載する。

（例示省略）

第2レベルの記述において、次の条件，すなわち

- a) 本タイトルがローマ字ではない
- b) 上述の指示によって記録した最初の並列タイトルがローマ字ではない
- c) 英語のタイトルが1つもない

のすべてに該当する場合，2番目の並列タイトルとして（この優先順位で）フランス語，ドイツ語，スペイン語，ラテン語，その他のローマ字の言語によるタイトルを記載する。

なお，参照ファイルからの流用入力によってレコードを作成する場合に，2番目以降の英語で書かれた並列タイトルが記載されていても，それを削除する必要はない。日本語の並列タイトルはこの前に挿入して記録する。

F 3. 2

主情報源に表示されている原タイトルは，AACR 2の1. 1 D 3の指示によって記録する。ただし，第4文の指示については，記録先はNOTEフィールドではなく，VTフィールドに原書名コードORを付して記録する。（⇒4. 2. 5 VT）

F 3. 3

主情報源以外の個所に表示されている並列タイトルは，表示されていた箇所を示すコードを付してVTフィールドに記録する。

F 3. 4

並列タイトルに日本語のタイトルが含まれている場合は，その語句のヨミによる検索が可能となるように，そのヨミを和図書書誌レコードの作成に関する規定に従って記録する。（⇒2. 2. 1 F 4）

F 4（タイトル関連情報）

タイトル関連情報の記録に際しては，AACR 2の規則1. 1 E及び2. 1 Eに準拠する。

ただし，長いタイトル関連情報の省略又は短縮については，そのタイトル関連情報を索引語とする必要があるかどうかにより，採否を判断する。索引語とする必要がある場合は，表示のままTRフィールドに記録する。（⇒AACR 2 1. 1 E 3）

なお，AACR 2の1. 1 E 5第2段落のタイトル関連情報のみの並列の記録に関する任意規定は，日本語版刊行の後に改訂され，これを記録するときには等号に続けて記録する旨の指示が追加されているが，この任意規定は採用しない。（⇒5 2. 2 任意規定の適用範囲）

4.2.6 CW

4.2.6A〔形式〕

CW	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
内容著作注記	選択	可変長		128
<div> <div>巻冊次</div> <div>タイトル</div> <div>責任表示</div> <div>タイトルのヨミ*</div> </div>	<div>必須2</div> <div>必須1</div> <div>(選択)</div> <div>(選択)</div>		<div>1024 バイト</div> <div>256 バイト</div> <div>256 バイト</div>	

*ヨミは、タイトルに日本語が現れた場合などに記録する。

4.2.6B〔記述文法〕



*¹タイトル関連情報等を伴う場合は、TRフィールドの記述文法に準じて展開する。(⇒4.2.1 TR)

*²2番目以降の責任表示を伴う場合は、TRフィールドの記述文法に準じて展開する。(⇒4.2.1 TR)

*タイトルに日本語などヨミによる検索が必要なものが現れた場合は、ヨミを記録する必要がある。この場合の記述文法については、和図書書誌レコードの記述文法を参照せよ。(⇒2.2.6 CW)

4.2.6C〔フィールド内容とデータ要素〕

C1

CWフィールドには、構成部分である著作単位について、巻冊次、タイトル、及び責任表示をデータ要素として記録する。

C2

巻冊次には、出版物理単位の呼称を記録する。

タイトルには、構成部分である著作単位のタイトルを記録する。

責任表示には、当該タイトルにかかわる責任表示を記録する。

4. 2. 6 D [データ記入及び記入例]

D 1

巻冊次は、当該巻冊次に対応する一番最初の著作単位を記録するフィールドの先頭に記録する。
このとき、VOLフィールドに記録した巻冊次の名称を、CWフィールドに記録する。

```
VOL::set ISBN:0691072884 PRICE:$150.00
VOL:v. 1 ISBN:          PRICE:
VOL:v. 2 ISBN:          PRICE:
TR:Selected works of Ramon Llull (1232-1316) / edited and translated by Anthony
    Bonner
PHYS:2 v. (xxix, 1329 p., [18] p. of plates (1 folded)) : ill. (some col.), maps ;
    24 cm
CW:v. 1. The book of the Gentile and the three wise men brevis
CW:Ars demonstrativa
CW:Ars brevis
CW:v. 2. Felix, or the book of wonders
CW:Principles of medicine
CW:Flowers of love and flowers of intelligence
```

D 2

タイトル関連情報、並列タイトルを伴う場合、また、2番目以降の責任表示を伴う場合は、TRフィールドの記述文法に準じて展開する。(⇒4. 2. 1 TR)

```
TR:Montaigne : essays in memory of Richard Sayce / edited by I.D. McFarlane and Ian
    Maclean
PHYS:x, 174 p. ; 22 cm
CW:The evolution of the Essais / David Maskell
CW:Talking about souls : Montaigne on human psychology / Carol Clark
CW:The concept of virtue : considerations on the genesis / David Frame
CW:The art of transition on the Essais / Jean-Pierre Chauchard ; translated by
    Margaret McGowan
```

D 3

タイトル関連情報、並列タイトル、並列責任表示を伴う場合は、タイトルと並列タイトル、責任表示と並列責任表示とをそれぞれひとまとまりとし、間にスラッシュ（/）を記録する。タイトルと並列タイトル、責任表示と並列責任表示との間には、イコール（=）を記録する。

```
CW:A tale of two cities = 二都物語 / by Charles Dickens = チャールズ・ディケンズ 著 || A tale
    of two cities = ニトモノカタリ
```

追加

4. 2. 6 E [フィールドの繰り返し]

著作単位が複数ある場合は、CWフィールドをその数だけ繰り返し、それぞれのタイトル、及び責任表示を記録する。

4. 2. 6 F 《注意事項》

F 1

当該巻冊次の「固有のタイトル」をCWフィールドに記録してはならない。(⇒4. 0. 1 固有のタイトル)

F 2

内容に関する注記事項のうち、著作単位のタイトル及び責任表示に該当しないもの、また、検索の必要がないものはNOTEフィールドに記録する。(⇒4. 2. 7 NOTE)

このようなものとして、次のものを挙げることができる。

- ア) 書誌, 年譜, 年表及び付録, 解説等
- イ) 目録対象資料の解題・要旨等
- ウ) 目録対象資料の利用対象等
- エ) 部編名に該当する名称を持つ構成部分, VOLフィールドに記録されなかった部編名等

NOTE:Bibliography: p. 167-170

NOTE:v. 1. 1861-1897 -- v. 2. 1898-1902 -- v. 3. 1903-1907 -- v. 4. 1908-1911 -- v. 5. 1912-1916

F 3

1つのCWフィールドに複数の著作単位のタイトル及び責任表示を記録してはならない。

(誤) CW:The assembly / Mavis Dillon . The winter father / Andre Dubus
(「The winter father」に対応する検索用インデックスが正しく作成されない)

〔関連項目〕

- 4. 0. 1 固有のタイトル
- 4. 0. 2 書誌構造
- 4. 2. 7 NOTE
- 4. 3. 2 AL
- 4. 3. 3 UTL

E 3 (その他の情報) (続)

E 3. 1. 3

書誌構造が3階層以上の場合で、親書誌タイトルに付与されている番号等が直下の中位の書誌に対応するものではなく、子書誌（又は第2の中位の書誌）に直接対応するときにも、これを親書誌の番号等として記録する。

TR:Explicit formulas for regularized products and series / Jay Jorgenson & Serge Lang, Dorian Goldfeld
PTBL:Lecture notes in mathematics <BA00146586> 1593 . Mathematisches Institut der Universität und Max-Planck-Institute für Mathematik, Bonn ; v. 21//aa
(目録対象資料は、親書誌 Lecture notes in mathematics の1593巻であると同時に、中位の書誌 Mathematisches Institut der Universität und Max-Planck-Institut für Mathematik, Bonn の21巻でもある)

E 3. 2 中位の書誌に関する情報

書誌構造が3階層以上の場合、親書誌の番号等に続けて、中位の書誌単位のタイトル、責任表示、部編名、番号等を上位から順に記録する。

E 3. 2. 1

中位の書誌単位のタイトル、責任表示の部分の記述文法は、T Rフィールドのデータ記入の方法に準ずる。(⇒4. 2. 1 T R)

キリル文字等、中位の書誌にヨミがなく、タイトルに続けてその他のヨミを記述する場合は区切り記号として「|||」を使用する。

中位の書誌単位の番号等の記述は、親書誌の番号等の記録方法に準ずる。(⇒E 3. 1)

追加

PTBL:Progress in clinical and biological research <BA00045895> v. 310 . EORTC Genitourinary Group monograph series ; 6//aa

PTBL:Памятники мировой литературы|||Pamiãtniki mĩrovoĩ literatury <BA18197044> .
Русская устная словесность|||Russkaiã`ustnaiã` slovesnost' ; т. 2// ab

追加

E 3. 2. 2

中位の書誌単位のタイトル、責任表示の記録の中に、「△. △」「△; △」が出現する場合は、タイトル、責任表示を中括弧（ { } ）で囲む。

PTBL:Conditio humana : Ergebnisse aus den Wissenschaften vom Menschen <BA10232753> .
{ Studienausgabe / Sigmund Freud ; herausgegeben von Alexander Mitscherlich, Angela Richards, James Strachey } ; Bd. 5//ab

E 4 (構造の種類)

E 4. 1

当該書誌単位と書誌構造を形成している書誌単位相互の関係をコード化（シリーズ：a，セット：b）して記録することができる。（⇒付録1. 7 構造の種類コード表）

書誌構造が3階層以上の場合は，上位から順に記録する。

登録時に指定がない場合は，構造の種類コードは“a”が自動付与される。

E 4（構造の種類）（続）

E 4. 2

同一の親書誌を持つ子書誌レコードについては，構造の種類が同じになるようにする。ただし，構造の種類は，各参加組織の便宜のために設けられたデータ要素であるので，不都合があれば変更できる。

4. 3. 1 F〔フィールドの繰り返し〕

複数の親書誌を持つ場合は，親書誌の数だけフィールドを繰り返す。

4. 3. 1 G（選択事項）

構造の種類を記録するかどうかは，各参加組織が選択する。

4. 3. 1 H《注意事項》

H 1

「固有のタイトル」に相当しない親書誌及び中位の書誌単位の部編名は，親書誌等の番号等とみなして，スペース，セミコロン，スペース（△；△）で区切り，記録する。

TR:Theme, result, and contrast : a study in expository discourse in upper Tanudan
Kalinga / Sherri Brainard
PTBL:Pacific linguistics <BA00708518> ser. B ; Monographs ; no. 106//a

H 2

中位の書誌単位に対応する版表示があるものについては，その版表示をNOTEフィールドに記録する。（⇒4. 2. 7 NOTE）

H 3

リンク先のデータ内容が修正され，PTBLフィールドのデータ内容と一致しなくなった場合は，PTBLフィールドのデータ内容が自動的に更新され，リンク先のデータ内容と一致した形に修正される。
* このようにデータが自動的に更新される以前の段階で，書誌レコードを修正するためEDITコマンドを発行した場合は，強制リンクが行われる。

* 1997年11月4日現在，修正後1分に自動更新される設定となっている。

変更

〔関連項目〕

4. 2. 1 T R

5. 2. 1 T R

4.3.2 E〔データ記入及び記入例〕

E 1 著者名リンクを形成する場合

E 1. 1 (主記入フラグ)

当該フィールドに記録された著者標目形が基本記入の標目であることを示す場合は、アステリスク(*)を記入する。(⇒付録 1. 7 主記入フラグコード表)

E 1. 2 (著者標目形, 及び著者標目形のヨミ)

リンク形成時に、リンク先著者名典拠レコードのHDNGフィールドの情報が自動的に記録される。

E 1. 3 (著者名典拠レコードID)

リンク形成時に、リンク先著者名典拠レコードIDが自動的に記録される。

E 1. 4 (その他の情報)

当該著者の役割を表す「comp.」「ed.」「ill.」等の語句を記録することができる。

TR:Mother Goose nursery rhymes / illustrated by Arthur Rackham
AL:Rackham, Arthur, 1867-1939 <DA01926984> ill

当該著者標目が一連の回次を有する会議名である場合は、次の形式で会議の回次、年次、開催地をその他の情報として記録する。記録の方法は、AACR 2 の 24. 7 B の指示に従う。

TR:The 7th International Conference on Distributed Computing Systems, Berlin, West
Germany, September 21-25, 1987 / sponsored by the Computer Society of the IEEE
AL:*International Conference on Distributed Computing Systems <DA01220192>
(7th : 1987 : Berlin, West Germany)

E 2 著者名リンクを形成しない場合

E 2. 1 (主記入フラグ)

前記 E 1. 1 と同様の方法で記入する。

E 2. 2 (著者標目形)

著者標目形については、フィールド作成の根拠となった著者の標目形に基づいて記録する。(⇒ 8. 2. 1, 9. 2. 1, 10. 2. 1, 11. 2. 1, 12. 2. 1, 13. 2. 1 HDNG)
著者標目形が日本名などの場合は、当該著者標目形の付記事項を除いた部分に対応するヨミを記録する。

E 2. 3 (著者名典拠レコードID)

記録しない。

E 2 著者名リンクを形成しない場合（続）**E 2. 4（その他の情報）**

前記 E 1. 4 と同様の方法で記録する。

4. 3. 2 F〔フィールドの繰り返し〕

複数の著者標目を記録する場合は、各名称ごとにフィールドを繰り返す。

4. 3. 2 G（選択事項）**G 1**

EDフィールド、PUBフィールド、CWフィールド、NOTEフィールドに記録した個人、団体、会議に対応するALフィールドを作成するかどうかは、各参加組織が選択する。

G 2

主記入フラグを記録するかどうかは、各参加組織が選択する。

G 3

著者名リンクは可能な限り形成する。ただし、既存の著者名典拠レコードとの同定が困難な場合は、これを形成しない。

G 4

「その他の情報」に著者の役割表示を記録するかどうかは、各参加組織が選択する。

4. 3. 2 H《注意事項》**H 1. 1**

記述ブロック又はPTBLフィールドに記録されていない個人、団体、会議の名称に対して、ALフィールドを作成してはならない。ただし、責任主体が明らかな政府刊行物の場合は国名＋機関のALフィールドを作成することができる。

追加

H 1. 2

伝記、記念論文集の対象者は、当該資料中にその人物の著作があればALフィールドに記録する。著作がない場合は、ALフィールドではなくSHフィールドに個人名件名として記録する。

目、ディスクリプタ等を記録する。

4. 4. 2 F (選択事項)

F 1

件名作業を行うために使用する件名標目表、シソーラス等は、件名標目表の種類コード表に収録された標準的件名標目表、シソーラス等の範囲内で、各参加組織が自由に選択する。

F 2

記録する件名標目、ディスクリプタ等の数、形式等は、それぞれの件名標目表、シソーラス等における件名規程等に従う限りにおいて、各参加組織が自由に選択する。

F 3

件名の種類を記入するかどうかは、各参加組織が自由に選択する。

4. 4. 2 G 《注意事項》

G 1

1つのSHフィールドに複数の件名標目、ディスクリプタ等を記入してはならない。

G 2

コロンの前後にスペースを記入してはならない。

G 3

細目が後続することを示す区切り記号は、使用する件名標目表、シソーラス等の違いにかかわらず、常にスペース、ハイフン、ハイフン、スペース（△ー△）を用いる。

たとえ当該件名標目表、シソーラス等の件名規程等において「△ー△」以外の区切り記号を用いる旨の指示がある場合でも、当該区切り記号を記入してはならない。

G 4

「／／」の前後にスペースを記入してはならない。

G 5

件名のヨミについては、分かち書きを行わない。

~~G 6~~

~~件名標目表の種類コード「FREE」の使用法については、別途検討を行う。~~

G 6

目録対象資料に付与すべき件名標目、ディスクリプタ等が固有名である場合の当該固有名の表記方式等については、別途検討を行う。

削除

変更

第6章 和雑誌書誌レコード

この章では、和雑誌として取り扱うべき書誌レコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及び修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定していない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

この章で特に規定していない事項については、第2章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との対応関係〕

この章のそれぞれの項目において準拠すべき「日本目録規則 1987 年版改訂 3 版」（以下 NCR87R3 という）の条項番号を以下に示す。

「-」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

丸がっこ内の番号は、参照すべきであるが準拠するわけではないことを示す。

なお、準拠するべき条項であっても「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従う。

6.0	通則	
6.0.1	タイトル変遷	13.0.2.1, 13.1.1.3
6.0.2	複製資料	—
6.0.3	総称的タイトル	—
6.0.4	電子ジャーナルの書誌記述	—
6.1	ID&コードブロック	—
6.1.1	ID	(13.0.2.1)
6.1.2	MARCFLG	—
6.1.3	GMD	(1.1.2, 13.1.2)
6.1.4	SMD	(1.1.2, 13.1.2)
6.1.5	YEAR	—
6.1.6	CNTRY	—
6.1.7	TTLL	—
6.1.8	TXTL	—
6.1.9	ORGL	—
6.1.10	REPRO	—
6.1.11	PSTAT	—
6.1.12	FREQ	(13.7.3.0)
6.1.13	REGL	—
6.1.14	TYPE	—
6.1.15	ISSN	(1.8.1, 13.8.1)
6.1.16	XISSN	(1.8.1, 13.8.1)
6.1.17	NLDPN	—
6.1.18	CODEN	—

変更

6.1.19	ULPN	—
6.2	記述ブロック	
6.2.1	TR	1.1, 13.1, 22
6.2.2	ED	1.2, 13.2
6.2.3	VLYR	1.3, 13.3
6.2.4	PUB	1.4, 13.4
6.2.5	PHYS	1.5, 13.5, 各章の.5
6.2.6	VT	(1.7, 1.8.2, 13.7, 13.8.2), 22, 26
6.2.7	NOTE	1.7, 13.7
6.2.8	PRICE	1.8.3, 13.8.3
6.3	変遷ブロック	
6.3.1	FID	—
6.3.2	BHNT	(13.7.3.2)
6.4	リンクブロック	
6.4.1	PTBL	—
6.4.2	AL	23
6.4.3	UT	—
6.5	主題ブロック	
6.5.1	CLS	25
6.5.2	SH	24

6.0.1 タイトル変遷

逐次刊行物については、継続的に刊行される一連の刊行物全体を「逐次刊行物書誌単位」として、一つの書誌的記録（書誌レコード）を作成する。この書誌的記録は、刊行途中の本タイトルの変更等により、新たな書誌的記録を発生する場合がある。これを「タイトル変遷」という。

6.0.1A [タイトル変遷の判断基準]

以下の指針に従って、タイトル変遷かどうかを判断する。タイトル変遷と判断できる場合は、新規書誌レコードを作成する。この方式を「個別タイトル記入方式」という。

A1（本タイトルの変化）

本タイトルの変化に関しては、日本目録規則 1987 年版改訂 3 版 第 13 章継続資料（以下 NCR87R3 とする）に準拠する。本タイトルの変化には重要な変化と軽微な変化があり、軽微な変化に該当しない重要な変化の場合にタイトル変遷と判断する。

判断に迷う場合は、軽微な変化とする。ただし、出版者によるタイトルの変更の意思を示す証拠がない場合に限る。各条項番号およびその採否については、以下のとおり。

A1.1 重要な変化

(1) 主要な語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A ア) に従い、主要な語を他の語に変えたり、追加または削除した場合は、重要な変化とみなす。

相談学研究 → カウンセリング研究

(2) 語順の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A イ) に従い、語順に変化が生じた場合は、重要な変化とみなす。

(3) イニシアルまたは頭字語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A オ) に従い、イニシアルまたは頭字語が変わった場合は、重要な変化とみなす。

(4) 言語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A カ) に従い、言語が変わった場合は、重要な変化とみなす。

(5) 本タイトルに含まれる団体名の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3A キ) に従い、本タイトルに含まれる団体名が変わった場合は、重要な変化とみなす。

電子通信学会誌 → 電子情報通信学会誌

(6) 逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の変化

年代順のシリーズ表示等、逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の追加・削除・変化が巻次変更に伴って生じた場合は、重要な変化とみなす。(NACSIS 独自規定) (⇒6.2.1F2.8., 6.2.1F2.9)

西洋史研究 → 西洋史研究. 新輯

変更

A1.2 軽微な変化

(1) 助詞等の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ア) に従い、助詞、接続詞、接尾語が他の語に変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

中国土地改良 → 中国の土地改良

(2) 記号の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B イ) に従い、重要な意味を持たない記号が変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

飛鳥藤原宮発掘調査出土木簡概報 → 飛鳥・藤原宮発掘調査出土木簡概報

(3) 逐次刊行物の種別を示す語の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ウ) に従い、逐次刊行物の種別を示す語が類似の語に変化したり、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

(4) 語順の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B キ) に従い、語順の変化、語の追加または削除が主題の変化につながる場合は、軽微な変化とみなす。ただし、語順の変化、語の追加または削除は、名称が列記されている部分における変化の場合のみ軽微な変化とみなす。(NACSIS 独自規定)

(5) イニシアルまたは頭字語と完全形の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B ク) に従い、イニシアルまたは頭字語が完全形に変わったり、逆に完全形がイニシアルまたは頭字語に変わった場合は、軽微な変化とみなす。

(6) 顕著に表示されているタイトルの交替

主情報源上のレイアウトの変更等に伴い、より顕著に表示されているタイトルが交替した場合、従来からの本タイトルが主情報源上に表示されているかぎり、軽微な変化とみなす。

NCR87R3 の 13.1.1.3B ケ) では適用を本タイトル/並列タイトルの交替にかざっているが、顕著に表示されているタイトルの交替全般に適用する。(NACSIS 独自規定)

(7) 文字種の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B コ) に従い、言語は変化せずに、文字種の変化があった場合は、軽微な変化とみなす。

NTT ファシリティーズジャーナル → NTT ファシリティーズ journal

View かんざき → View 神崎

韓國의 中小企業 → 한국의 중소기업

変更

(8) 本タイトルに含まれる団体名の表記の変化

NCR87R3 の 13.1.1.3B サ) に従い、本タイトルに含まれる団体名の表記に微細な変化、追加または削除があったり、他の語との関連が変化した場合は、軽微な変化とみなす。ただし、微細な変化、追加または削除であっても、団体名称の変更に伴うものである場合は、軽微な変化とみなさない。(NACSIS 独自規定)

沖縄生物教育研究会誌 → 沖生教研会誌

(9) 主要でない語の変化

その他、タイトルの意味内容や主題に変化を及ぼさない主要でない語が変化、追加または削除された場合は、軽微な変化とみなす。

県民所得推計結果報告書 → 県民所得推計報告書

上記、重要な変化としないものおよび軽微な変化となるものは、VT フィールドに OH として記録し、NOTE フィールドに巻次・年月次とともに記録する。アクセス上必要がないものは NOTE フィールドのみに記録してもよい。(⇒6.2.6F7.1, 6.2.7F3.6)

ただし、上記 A1.2 の軽微な変化の規定に関して、書誌の同定・運用上特に必要と認められる場合には、タイトル変遷とみなすこととする (NACSIS 独自規定)。

6.0.2 複製資料

6.0.2A [適用範囲]

写真複製，電子的複写などの方法で原本を忠実に再現させた複製資料（マイクロ資料，録音資料，コンピュータファイルなど，媒体は問わない）に適用する。

図書館などが資料の欠損部分を補うために，一部分のみを複製したものには適用しない。

雑誌の私家複製版については，それ自体が刊行を目的としていないことから，NACSIS-CAT では個別の書誌レコードの作成は行わない。

変更

6.0.2B [書誌レコードの作成基準]

B1 (原則)

複製資料は，原本とは別の書誌レコードを作成する。

B2 (同一資料からの複製)

同一資料から，同一の方法で作成された複製資料同士については，複製としての版や出版事項の相違により，書誌の異同を判断する。

B3 (合刻複製)

複製時に，別のタイトルを持つ他の逐次刊行物と共に合刻されたものは，例えそれらが変遷関係にあっても，複製資料全体ではなく，収録されている個々の逐次刊行物の単位で書誌レコードを作成する。

6.0.2C [データ要素の情報源及び記入]

各フィールド毎，次のような情報源を基に記録する。

C1 (一般資料種別 GMD, 特定資料種別 SMD)

複製版自体によって記録する。

GMD:h (マイクロ形態を示すコード「h」を記録)

C2 (刊年 YEAR)

NOTE に記録した原本の出版年を記録する。

C3 (出版国 CNTRY)

複製版の出版地のコードを記録する。

C4 (言語コード TTLL, TXTL, ORGL)

原本の言語コードを記録する。

C5 (複製コード REPRO)

複製を示すコード「c」を記録する。

REPRO:c

C6 (出版状況などのコード PSTAT, FREQ, REGL, TYPE)

記録しない。

C 7 (各種番号 ISSN, XISSN, NDLPN, CODEN)

複製版の番号などを記録する。原本の ISSN については, XISSN フィールドに記録し, 同時に NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

C 8 (タイトル及び責任表示 TR)

原本に該当する情報源を採用する。(→ NCR87R3 13.1.0.3 別法)

複製時のタイトルが原本のものと異なる場合は, VT フィールド及び NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.6F2, 6.2.7F3.17)

複製版にのみ関わる責任表示は, ED に版責任表示として記録する。(→ 6.2.2F2)

C 9 (版に関する事項 ED)

複製版の版表示を記録する。版表示がない場合は, 補記することが望ましい。

ED:複製版

ED:[複製版]

原本にのみ関わる版表示及び関連事項は, NOTE フィールドに記録する。(→ 6.2.7F3.17)

C 1 0 (巻次・年月次 VLYR)

原本の巻次・年月次を記録する。(→ NCR87R3 13.3.0.3)

部分的な複製は, 複製された範囲に対応する原本の巻次・年月次を記録する。

C 1 1 (出版・頒布などに関する事項 PUB)

複製版の出版事項を記録する。(→ NCR87R3 13.4.0.3)

C 1 2 (形態に関する事項 PHYS)

複製版の形態に関する事項を記録する。

C 1 3 (その他のタイトル VT)

原本及び複製版の情報源のどこからでも採用できる。

複製時に付与された原本と異なるタイトルや合刻複製版の総合タイトルについては, タイトルの種類コード(OH)と共に VT フィールドに記録し, 同時に NOTE フィールドにも記録する。(→ 6.2.6F2, 6.2.6F3, 6.2.7F3.17)

C 1 4 (注記 NOTE)

原本及び複製版の情報源のどこからでも採用できる。

原本の情報源からの注記としては, 以下のようなものがある。(→ 6.2.7F3.17)

- (1) 原本の ISSN (検索の便宜を考え, XISSN フィールドにも記録する)。
- (2) 原本のみに関わる版表示。
- (3) 原本の出版事項。
- (4) 原本のタイトル変遷関係。

6.0.3 総称的タイトル

逐次刊行物のタイトルが総称的な語からなる場合、他の逐次刊行物との識別を容易にするため、TR フィールドには必ず責任表示を記録する。(→ 6.2.1F5.4, 6.2.1F5.5)

6.0.3A [判定基準]

総称的なタイトルであるかどうかの判定は、次のような基準に従い行う。(→ 7.0.3)

- (1) ISDS における総称的な語の定義は、「出版物の種類及び（または）頻度を示すもの」である。各々の判断は、この定義によるものとする。

(例)			
会議録	月報	速報	
会誌	研究	年報	
会報	研究報告	プログラム	
概要	広報	報告	
季報	雑誌	報告書	
紀要	資料	要覧	
機関誌（紙）	技報（技術報告）	資料集	通信
統計	統計年報	ニュースレター	年鑑
年次報告	レポート	論集	資料図録
博士学位論文	ディスクロージャー誌		
研究紀要	研究年報	調査月報	調査レポート
試験成績書	事業概要	事業年報	事業資料集
業務概要	業務年報	業務成績報告書	実践集
実践集録	実践報告	実践報告集	

追加

- (2) タイトル中に主題内容や範囲を示す語を含む（あるいはこれらの語によって構成されている）場合は、総称的とはみなさない。

(例)
 近代文学研究
 経済
 経営研究
 人類学研究
 天文学
 行動科学研究
 化学雑誌
 科学
 医学中央雑誌

- (3) タイトル中に出版物の頻度または種類を示す語以外のものを含む場合は、通常総称的タイトルとみなさない。

(例)

熊本市勢要覧
健康管理年報

6.0.4 電子ジャーナルの書誌記述

当面、電子ジャーナルの書誌記述に関しては、本規定を暫定的に適用する。

削除

6.0.4A【適用範囲】

この入力基準を適用するのは、以下の条件をすべて満たす電子ジャーナルとする。

- ① 一つのタイトルのもとに、終期を予定せず、巻次・年月次を追って継続的に提供されているもの。すなわち、逐次刊行物の定義に合致するもの。
- ② 図書館でアクセスを保証できるもの。具体的には、出版者から購入しているオンラインジャーナルや図書館等で作成・提供しているオンライン研究紀要類（タイトル単位で学術機関リポジトリに登録されている電子ジャーナルを含む）など。ILLで利用可能かどうかは問わない。
- ③ ネットワーク上で提供されており、URLなどネットワークアクセスのための識別子をもつもの。

追加

以下のものには、この入力基準を適用しない。

- ① 逐次刊行物の定義に合致しないインターネット上のコンテンツ。
- ② 図書館としてアクセスを保証できない、ライセンスフリーの電子ジャーナル。
- ③ CD-ROM形態等のローカルアクセスで利用する電子ジャーナル（これらについては、従来の雑誌書誌レコードの記述方法で対応する）。
- ④ NACSIS-IR等の情報検索サービスで利用可能な、全文データベースや2次情報データベース。

6.0.4B【書誌レコードの作成基準】

B1（原則）

ネットワーク上の電子資料とは別に、冊子体やCD-ROM等の異なる資料種別で刊行されている場合は、それぞれ別の書誌レコードを作成する。

B2（タイトル変遷）

タイトル変遷が発生した場合、変遷前と変遷後で別の書誌レコードを作成する。

変遷前のタイトルとして利用不可能になったとしても、別書誌レコードのままとする。

TR:オンライン・システムニュースレター / 学術情報センター[編] || オンライン システム ニュースレター

VLYR:No. 1 (1986.11)-no. 70 (2000.3)

BHNT:CS:NACSIS-CAT/ILL ニュースレター / 国立情報学研究所[編]

NOTE:2000 年 3 月終刊

TR:NACSIS-CAT/ILL ニュースレター / 国立情報学研究所[編] || NACSIS-CAT/ILL ニュースレター

VLYR:No. 1 (2000.8)-

BHNT:CF:オンライン・システムニュースレター / 学術情報センター[編]

TR:Research & education networking

VLYR:Vol. 1, no. 1 (Oct. 1990)-v. 3, no. 6 (July/Aug. 1992)

BHNT:CS:Internet world

NOTE:Ceased in 1992

TR:Internet world

VLYR:Vol. 3, no. 7 (Sept. 1992)-v. 9, no. 2 (Feb. 1998)

BHNT:CF: Research & education networking

B 3 (複数のアクセス先)

同一の電子ジャーナルが複数のアクセス先を持つ場合は、別の書誌レコードとはしない。IDENT フィールドに複数のアクセス先を記述する。(→6.0.4D3.2)

B 4 (ファイルフォーマット等の違い)

同一の電子ジャーナルが、HTML や PDF 等、複数のファイルフォーマット (文字セット、言語の違いも含む) で提供されている場合は、別の書誌レコードとはしない。

NOTE フィールドに複数のファイルフォーマットを記述する。(→6.0.4D4.5)

6. 0. 4 C [記述の情報源]

記述のための情報源は、以下の優先順位で採用する。

- 1) タイトル画面
- 2) その他の内部情報 (メニュー、プログラム記述、リードミー・ファイル、索引など)
- 3) その他の情報源

従来の記述を行う上で基準となっていた初号は、単独の情報源として存在するとは限らず、情報源自体が最新のものに変更されることから、確認できる最新の情報源を記述の基準とする。

6. 0. 4 D [データの記入] (以下のフィールド毎の規定は、6.1 以下の各規定にも反映する)

各フィールド毎、次のように記録する。

以下に規定しないフィールドについては、第 6 章、第 7 章の各フィールドの規定に従ってデータ記入を行う。

D 1 (一般資料種別 GMD, 特定資料種別 SMD)

機械可読データファイルに関する資料種別コードを記録する。

GMD:w SMD:r (機械可読データファイルを示すコード「w」、リモートファイルを示すコード「r」を記録)

D 2 (形態に関する事項 PHYS)

ネットワークアクセスで利用する電子ジャーナルの場合、形態に関する事項は記録しない。

D 3 (アクセス先に関する事項 IDENT) (Identifier : 資源識別子)**D 3. 1 (アクセス先の記録)**

ネットワークアクセスで利用する電子ジャーナルの場合、アクセス先の URL などに関する事項を記録する。

IDENT:http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/PUB/nl/nl.cont.html

IDENT:http://www.jbc.org/

D 3. 2 (複数のアクセス先)

サービス提供者により URL が異なる場合等、複数のアクセス先がある場合は、このフィールドを繰り返す。

TR:EMBO Journal Online

IDENT:http://www.emboj.org/

IDENT:http://intl.emboj.org/

D 3. 3 (アクセス先の変更)

なお、このアクセス先は、常に最新の利用可能なものを記録するものとする。利用不可能となった古いアクセス先は削除し、NOTE フィールドに記録する。

6. 1 ID&コードブロック

6. 1 A 【構成と内容】

ID&コードブロックは、次の20種類のフィールドで構成される。

ID、MARCF LG、GMD、SMD、YEAR、CNTRY、TTLL、T
XTL、
ORGL、REPRO、PSTAT、FREQ、REGL、TYPE、ISSN、
XISSN、NDLPN、CODEN、ULPN、GPON

変更

これらは、書誌レコードを構成する特定の情報をコード化して記録するために設けられたフィールド群である。

それぞれのフィールドに記録される情報は、特定のコード表等に基づいている。

6. 1 B 【データ記入】

これらのフィールドにおいては(ただし、IDフィールド及びMARCF LGフィールドを除く)、データ記入は、原則として目録対象資料の最新の情報に基づいて行う。

変更

IDフィールド及びMARCF LGフィールドにおいては、データ記入は、目録システムが行う。

変更

6. 1 C 《注意事項》

一部のコード化情報については、記述ブロックの特定のフィールドに記録した情報をコード化して、ID&コードブロックの対応するフィールドに記録する。

6. 1. 2 MARCFLG

|
変更

6. 1. 2 A 【形式】

MARCFLG	入力レベル
変更ありフラグ	不使用

|
変更

6. 1. 2 B 【フィールド内容】

和雑誌書誌レコードにおいては、MARCFLGフィールドは不使用である。

|
変更

6. 1. 2 C 【データ記入】

目録担当者は、このフィールドにデータ記入を行ってはならない。

6. 1. 2 D 《注意事項》

和雑誌書誌参照ファイルとして用意されているJAPAN/MARC (serials) は、更新のたびに全書誌レコードを一括更新する型のMARCFLGであるため、全ての既存書誌レコードは、実質上の修正が加えられたかどうかのいかんを問わず、更新後は修正が施された扱いになる。

そのため、流用元参照レコードの更新状況を示すMARCFLGフィールドの機能は、和雑誌書誌レコードにおいてはほとんど意味をなさない。したがって、和雑誌書誌レコードにおいては、MARCFLGフィールドをいっさい表示しないこととした。

|
変更

6. 1. 5 E〔データ記入及び記入例〕(続)

E 4 (続)

初号、あるいは初号と終号の双方を所蔵しているが、出版・頒布年の表示がないため、規定の情報源以外からの情報を記録する、あるいは情報を推定補記する場合

YEAR:1977
 PUB:東京 : 全日本舞踊連合 , [1977]-

YEAR:1972 1976
 PUB:大阪 : 大阪府医師会 , 1972-[1976]

YEAR:1966 1970
 PUB:東京 : 音楽之友社 , [1966]-[1970]

E 5

出版・頒布日付に対応する西暦年が不明の場合は、不明部分の数字をハイフンで代用する。まったく推定不能の場合のみ4桁ともハイフン「----」を記入する。

変更

YEAR:19--
 PUB:大阪 : 日本貿易振興会大阪支部 , [19--]-

E 6

初号を所蔵していないため、出版・頒布開始年がPUBフィールドに記入できない場合でも、刊年1には推定可能な部分までを数字で記入し、不明の部分のみハイフンを記入する（初号を所蔵していない場合、PUBフィールドには出版・頒布開始年を推定記入してはならない）。

終号は所蔵しているが、初号を所蔵していないために出版・頒布開始の日付が確認できない場合

YEAR:1--- 1990
 PUB:東京 : 経済調査会出版部 , -1990
 NOTE:記述はNo. 726 (昭 36. 11)による

初号と終号の双方を所蔵していないために出版・頒布開始及び出版・頒布終了の日付が共に確認できない場合（刊行継続中のため、終号が事実上存在しない場合を含む）

所蔵巻号 No. 2, 2007.8 発行, 年 1 回刊の場合
 YEAR:200-
 PUB:岡山 : 日本細胞生物学会
 NOTE:記述はNo. 2 (2007. 8)による

6. 1. 5 E [データ記入及び記入例] (続)

E 7

複製資料の場合は、原本の出版・頒布開始の日付に対応する西暦年を刊年 1 に、原本の出版・頒布終了の日付に対応する西暦年を刊年 2 に記入する。

YEAR:1951 1971

PUB:京都 : 臨川書店 , 1985

NOTE: 原本の出版事項: 東京 : 俳文學會 , 1951-1971

6. 1. 5 F 《注意事項》

F 1

刊年 1 及び刊年 2 には、年月次データを記入してはならない。

F 2

同一の号が何刷も重ねて出版されている場合、刊年 1、及び刊年 2 には、初刷の出版・頒布年を記入する。

F 3

複製資料の場合、刊年 1 及び刊年 2 には、複製時の出版・頒布年を記入してはならない。

F 4

終号は所蔵しているが、初号を所蔵していないため、出版・頒布開始年が P U B フィールドに記入できない場合は、必ず刊年 1 に推定される刊年（不明部分はハイフン）と記入したうえで、刊年 2 を記入する。刊年 2 のデータだけを単独で記入してはならない。

変更

F 5

刊年 1 と刊年 2 の間には、スペース以外の文字を記入してはならない。

〔関連項目〕

6. 1. 11 P S T A T

6. 2. 4 P U B

6. 2. 7 N O T E

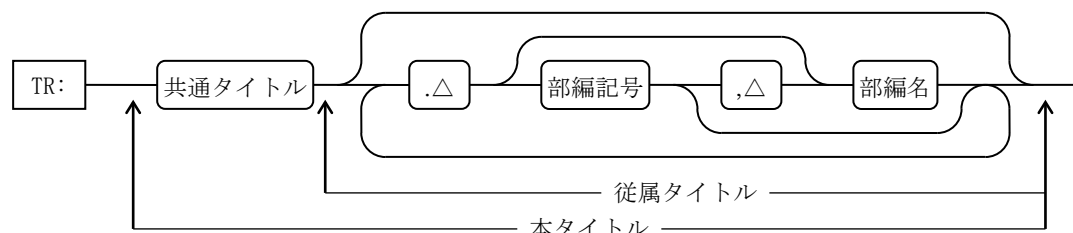
6.2.1 TR

6.2.1A【形式】

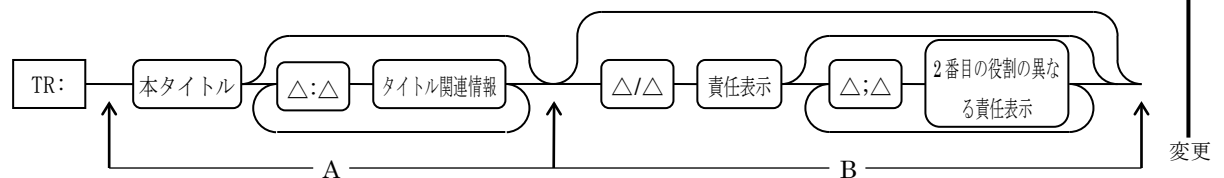
TR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
タイトル及び責任表示に関する事項	必須 1	可変長		無
タイトル, 責任表示			1024 バイト	1
本タイトル	必須 1			無
タイトル関連情報	必須 2			有
並列タイトル	必須 2			有
並列タイトル関連情報	選択			有
責任表示	必須 2			有
並列責任表示	選択			有
タイトルのヨミ			1024 バイト	1
本タイトルのヨミ	必須 2			無
タイトル関連情報のヨミ	必須 2			有
並列タイトルのヨミ	必須 2			有
並列タイトル関連情報のヨミ	選択			有

6.2.1B【記述文法】

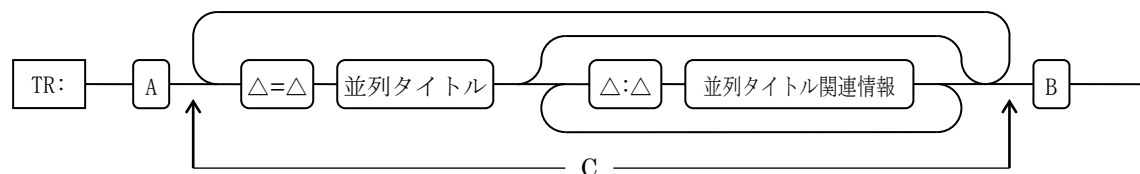
(1) 本タイトルが共通タイトルと従属タイトル（部編記号，部編名）からなる場合



(2) 本タイトル，タイトル関連情報，責任表示，2 番目以降の役割の異なる責任表示



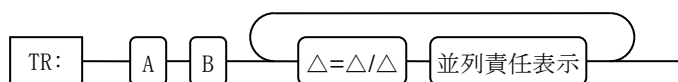
(3) 並列タイトル，並列タイトル関連情報がある場合 [A, B の部分は, (2) と同じ]



(4) 本タイトルと責任表示が並列する場合 [A~C の部分は, (2), (3) と同じ]



(5) 責任表示のみが並列する場合 [A, B の部分は, (2) と同じ]



(6) ヨミを記録する場合 [A～C の部分は, (2), (3) と同じ]



6. 2. 1 C [NCR87R3 の区切り記号の採否]

NCR87R3 13.1.0.2 の採否は, 次の通りとする。

- (1) ア) は不採用とする。資料種別は GMD フィールド, SMD フィールドに記録する。
- (2) イ) は採用する。
- (3) ウ) は採用する。
- (4) エ) は不採用とする。
- (5) オ) は不採用とする。
- (6) カ) は採用する。
- (7) キ) は採用する。
- (8) ク) は採用する。

6. 2. 1 D [フィールド内容とデータ要素]

TR フィールドには, 目録対象資料の本タイトル, タイトル関連情報, 責任表示, 及びタイトル (本タイトルとタイトル関連情報を含む) のヨミを, フィールド中のデータ要素として記録する。

それぞれのデータ要素に対応する並列データ要素は, 1 あるいは複数存在することがある。

タイトル関連情報及び責任表示は, 1 あるいは複数存在することがある。

6. 2. 1 E [データ要素の情報源]

TR フィールドのデータ要素の情報源は, 表紙または標題紙のある場合は初号の表紙, 標題紙, 背, 奥付の順で採用する。表紙及び標題紙がない場合は, 題字欄とする。初号がない場合は, 所蔵する最も古い号とする。

(→ NCR87R3 13.0.3.1, NCR87R3 13.0.3.2)

6. 2. 1 F [データ記入及び記入例]

F 1 (本タイトル)

本タイトルは, 記述対象とする逐次刊行物全体を通じて共通し, 他の資料と同定識別できる固有の名称である。

(→ NCR87R3 13.1.1)

F 3. 2 1 (機関リポジトリ等の URL についての注記)

タイトル単位での機関リポジトリの URL を記録することができる。

NOTE: 広島大学学術情報リポジトリ: <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/meta-bin/mt-pmtlist.cgi?smode=1&tlang=0&pagecnt=20&isrl=AN00140969>

NOTE: 電子版公開あり (21 号以前は一部公開): <http://opac.ouj.ac.jp/search/report.html> (参照 2011.5.20)

追加

6. 2. 7 G [フィールドの繰り返し]

本マニュアル及び NCR87R3 に定める注記 (の種類) ごとに NOTE フィールドを繰り返して記録する。

ただし、フィールドの繰り返し制限を越えてしまう場合は、同種の注記をグループ化し、一つの NOTE フィールドの中に記録するものとする。

6. 3 変遷ブロック

6. 3 A 〔構成と内容〕

変遷ブロックは、次の2種類のフィールドで構成される。

- 1) F I Dフィールド
- 2) B H N Tフィールド

1)及び2)は、当該書誌レコードにかかわるタイトル変遷関係の情報を表示するために設けられたフィールドである。

1)は、当該書誌レコードにかかわる変遷ファミリー I Dを表示するために設けられたフィールドである。

2)は、当該書誌レコードとタイトル変遷関係にある他の書誌レコードの主要な情報等を表示するために設けられたフィールドである。

6. 3 B 〔データ記入〕

これらのフィールドにおいては、データ記入は、国立情報学研究所が行う。
目録担当者は、これらのフィールドにデータ記入を行ってはならない。

―
変更

6. 3 C 《注意事項》

タイトル変遷関係の情報は、目録担当者の報告を基に国立情報学研究所が確証作業を行ったのちに、該当する雑誌書誌レコード及びタイトル変遷マップレコードに反映される。

―
変更

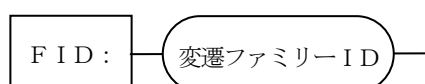
新規入力においては、これらのフィールドにデータ記入を行ってはならない。

6. 3. 1 F I D

6. 3. 1 A 〔形式〕

F I D	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変遷ファミリー I D	センターのみ	固定長	8 バイト	1

6. 3. 1 B 〔記述文法〕



6. 3. 1 C 〔フィールド内容とデータ要素〕

F I D フィールドには、当該書誌レコードにかかわるタイトル変遷関係の情報のうち、変遷ファミリー I D がデータ要素として記録される。

6. 3. 1 D 〔データ記入〕

このフィールドに記録されるべき情報が存在する場合は、「変遷注記用データシート」に当該情報を記入し、当該情報の拠り所となる資料等とともに、国立情報学研究所に報告する。

変遷ファミリー I D は、目録担当者の報告を基にタイトル変遷関係の確証作業を行ったのちに、国立情報学研究所が付与する。

目録担当者は、このフィールドにデータ記入を行ってはならない。

変更

〔関連項目〕

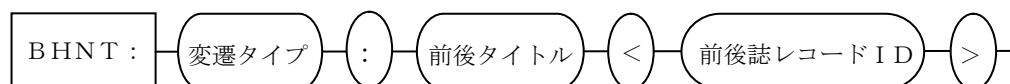
6. 3. 2 B H N T

6. 3. 2 BHNT

6. 3. 2 A〔形式〕

BHNT	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変 遷 注 記	センターのみ	可変長		255
変遷タイプ		(固定長)	(2 バイト)	
前後タイトル		(可変長)	(1024 バイト)	
前後誌レコードID		(固定長)	(10 バイト)	

6. 3. 2 B〔記述文法〕



6. 3. 2 C〔フィールド内容とデータ要素〕

C 1

BHNTフィールドには、目録対象資料のタイトル変遷にかかわる注記のうち、当該書誌レコードと変遷関係にある他の書誌レコードの主要な情報が記録される。

C 2

BHNTのデータ要素は、変遷タイプ、前後タイトル及び前後誌レコードIDである。

変遷タイプには、タイトル変遷のタイプがコード化して記録される。(⇒付録1. 7 その他のコード表)

前後タイトルには、当該書誌レコードと変遷関係にある他の書誌レコードのタイトル等が記録される。

前後誌レコードIDには、当該書誌レコードと変遷関係にある他の書誌レコードのレコードIDが記録される。

6. 3. 2 D〔データ記入〕

このフィールドに記録されるべき情報が存在する場合は、「変遷注記用データシート」に当該情報を記入し、当該情報の拠り所となる資料等とともに、国立情報学研究所に報告する。

変遷タイプ、前後タイトル及び前後誌レコードIDは、目録担当者の報告を基にタイトル変遷関係の確証作業を行ったのちに、国立情報学研究所が付与する。

目録担当者は、このフィールドにデータ記入を行ってはならない。

変更

〔関連項目〕

6. 3. 1 F I D

第7章 洋雑誌書誌レコード

この章では、洋雑誌として取り扱うべき書誌レコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及び修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定していない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

この章で特に規定していない事項については、第6章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との対応関係〕

この章のそれぞれの項目において準拠すべき「英米目録規則第2版，同1988年改訂，同1993年修正，同2002年改訂」（以下 AACR2, AACR2R88, AACR2Amen93, AACR2R2002 という）の条項番号を以下に示す。

「－」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

丸括弧内の番号は、参照すべきであるが準拠するわけではないことを示す。

なお、準拠するべき条項であっても「目録情報の基準」と相違する事項に関しては、「目録情報の基準」に従う。

7.0	通則	
7.0.1	タイトル変遷	(21)
7.0.2	複製資料	－
7.0.3	総称的タイトル	－
7.1	ID&コードブロック	
7.1.1	ID	－
7.1.2	MARCFLG	－
7.1.3	GMD	(1. 1C, 12. 1C)
7.1.4	SMG	(1. 1C, 12. 1C)
7.1.5	YEAR	－
7.1.6	CNTRY	－
7.1.7	TTLL	－
7.1.8	TXTL	－
7.1.9	ORGL	－
7.1.10	REPRO	－
7.1.11	PSTAT	－
7.1.12	FREQ	(12. 7)
7.1.13	REGL	－
7.1.14	TYPE	－
7.1.15	ISSN	(1. 8B, 12. 8B)
7.1.16	XISSN	(1. 8B, 12. 7B)
7.1.17	LCCN	(1. 8B, 12. 7B)
7.1.18	CODEN	(1. 8B, 12. 7B)
7.1.19	ULPN	(1. 8B, 12. 7B)
7.1.20	GPON	(1. 8B, 12. 7B)

変更

〔目録規則との対応関係〕(続)

7.2	記述ブロック	
7.2.1	TR	1.1, 12.1
7.2.2	ED	1.2, 12.2
7.2.3	VLJR	1.3, 12.3
7.2.4	PUB	1.4, 12.4
7.2.5	PHYS	1.5, 12.5, 各章の.5
7.2.6	VT	(1.7, 1.8C, 12.7, 12.8C)
7.2.7	NOTE	1.7, 12.7
7.2.8	PRICE	1.8D, 12.8D
7.3	変遷ブロック	
7.3.1	FID	—
7.3.2	BHNT	(12.7)
7.4	リンクブロック	
7.4.1	PTBL	—
7.4.2	AL	21, 24
7.4.3	UT	—
7.5	主題ブロック	
7.5.1	SH	—

7. OD〔情報源〕

7. OD 1 (記述の基準号)

(初号主義)

データの記述を行う上の基準号として優先的に採用されるのは、初号である。初号が入手できない場合は、入手できるものの最初の号（所蔵最古号）に基づいてデータ記入を行う。（→AACR2R88 12. 0B）

初号以外の号で記述を行った場合、記述の基準とした号について NOTE フィールドに記録する必要がある。

(基準とする号の修正)

情報源としての優先度は、初号に近い号ほど高くなる。従って、既存の書誌データが記述の基準とした号よりも初号に近い号を入手した場合は、その号に基づいて書誌データの書き換えを行うことになる。

7. OD 2 (主情報源)

主情報源は、AACR2R88 12. 0B に準拠する。

以下、AACR2R88 の対応条文（訳）を示す。

『AACR2R88 12. 0B. 情報源

12. 0B1. 印刷形態の逐次刊行物

主情報源

印刷形態の逐次刊行物の主情報源は、初号のタイトルページ（発行時のものであっても、後の出版のものであってもよい）、またはタイトルページの代替物である。初号がない場合は、主情報源は入手できるものの最初の号とする。タイトルページを欠く記述対象のタイトルページの代替物は、（以下の優先順位で）モノグラフシリーズにおける各巻のタイトルページ (analytical title page)、表紙、巻頭見出し (caption)、題字欄 (masthead)、エディトリアル・ページ、奥付、その他のページである。タイトルページ代替物として使用した情報源は注記すること (12. 7B 変更 3 を見よ)。慣習的にタイトルページに示される情報が、見開きページに表示してある場合、情報の重複の有無にかかわらず、この 2 ページをタイトルページとして扱う。

東洋系非ローマ字による印刷形態の逐次刊行物の場合、奥付が完全な書誌的情報を含み、かつ次のものに該当するならば、奥付を主情報源とする。

- タイトルページがあるべき位置のページに、本タイトルしかない。もしくは、
- タイトルページに、筆記体の本タイトルしかない。もしくは、
- タイトルページに、西洋語形のタイトル及び西洋語形のその他書誌的情報しかない。』

7. OD 3 (規定の情報源)

各データ要素の規定の情報源は、AACR2R88 12. 0B、AACR2R2002 12. 0B3 に準拠する。

以下、AACR2R88 の対応条文（訳）を示す。なお、「数字および（または）アルファベット…」と「出版、頒布など」の規定の情報源については、AACR2Amen93 での変更を反映している。

『AACR2R88 12. 0B1 (続き)

規定の情報源

印刷形態の記述の各エリアに対する規定の情報源は、下記の通りとする。規定の情報源以外から得た情報は、角括弧に入れる。

<u>〔エリア〕</u>	<u>〔規定の情報源〕</u>
<u>タイトルと責任表示</u>	<u>タイトルページ</u>
<u>版</u>	<u>タイトルページ、その他の前付け部分、奥付</u>
<u>数字および（または）アルファベット、年月次、またはその他の表示</u>	<u>逐次刊行物全体 (AACR2R88 ではタイトルページ、その他の前付け部分、奥付)</u>
<u>出版、頒布など</u>	<u>逐次刊行物全体 (AACR2R88 ではタイトルページ、その他の前付け部分、奥付)</u>
<u>形態的記述</u>	<u>逐次刊行物全体</u>
<u>シリーズ</u>	<u>逐次刊行物全体</u>
<u>注記</u>	<u>あらゆる情報源</u>
<u>標準番号と入手条件</u>	<u>あらゆる情報源』</u>

7. OD4（製本時の情報源）

古い書誌群で、初号発行時のタイトルページが確認できない場合は、その後の出版で付与された巻のタイトルページを、後に出版された初号のタイトルページとして扱い、他の情報源より優先する（NACSIS 独自規定）。

なお、出版時にはなく、製本時に図書館が独自に付加した部分（表紙、背等）は、情報源にはなり得ない。これらに表示されているタイトル等は、必要とする参加組織が所蔵レコードに記録する。

7. OD5（仮登録雑誌の取り扱い）

書誌データの記録は、現物の情報源に拠って行うことが原則であるが、新規の予約雑誌にかぎり、以下のような運用により簡略なデータを仮登録することを可能とする。

1. 書店カタログ等に基づき、簡略なデータを記録できるものとする
2. この時、そのレコードが仮登録雑誌（予約雑誌）であることを、必ず NOTE フィールドに記録する（⇒ 7.2.7F3.2）

NOTE: 仮登録雑誌

3. 仮登録雑誌の書誌レコードは、現物を入手した時点で修正し、正式登録の状態とする
4. 仮登録雑誌の所蔵レコードの年次フィールド HLYR と巻次 HLV フィールド両方に、仮登録であることを示すアスタリスク（*）を入力する（⇒ 17.2.1, 17.2.2）

7. OE【データ記入】

データ記入に当たっての、区切り記号法、誤記、誤植、脱字等の扱いについては、第4章洋図書書誌レコード 4.0D【データ記入】の規定に従う。

7. OF【報告】

新規レコードを作成した場合や、書誌レコードを修正した場合（⇒ 23.0）、または、タイトル変遷関係について新しい事実を発見した場合は、国立情報学研究所に報告する。

報告時に送付するものは以下のとおりである。

- (1) 報告内容についての説明（新規作成・修正・変遷報告の別、および対象書誌 ID、報告者の連絡先等）
変遷報告の場合は、変遷注記用データシート
- (2) 書誌レコードの詳細表示画面の画面コピー等
新規作成：作成した書誌レコードの画面
書誌修正：修正前の画面と、修正後の画面の両方
タイトル変遷：関連する書誌レコードの画面
- (3) 報告の根拠となった情報源
新規作成：記述の根拠となった号の規定の情報源箇所のコピー等
タイトル変遷：タイトル変遷と考える根拠となった情報源箇所のコピー等
書誌修正：修正する根拠となった巻号・情報源箇所のコピー等
変遷前誌・後誌の作成や修正を伴う場合には併せてそのコピー等

送付先：国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課 NACSIS-CAT（雑誌）担当
〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2
FAX：03-4212-2382

質疑のある場合は、必要に応じて国立情報学研究所と連絡・協議を行うこととする。

7. 0. 1 タイトル変遷

逐次刊行物については、継続的に刊行される一連の刊行物全体を「逐次刊行物書誌単位」として、一つの書誌的記録（書誌レコード）を作成する。この書誌的記録は、刊行途中の本タイトルの変更等により、新たな書誌的記録を発生する場合がある。これを「タイトル変遷」という。

7. 0. 1 A [タイトル変遷の判断基準]

以下の指針に従って、タイトル変遷かどうかを判断する。タイトル変遷と判断できる場合は、新規書誌レコードを作成する。この方式を「個別タイトル記入方式」という。

A 1（本タイトルの変化）

本タイトルの変更に関しては、AACR2R2002 21. 2A1 の条項に準拠する。タイトルの変化には重要な変化と軽微な変化があり、軽微な変化に該当しない重要な変化の場合にタイトル変遷と判断する。

判断に迷う場合は、軽微な変化とする。ただし、出版者によるタイトルの変更の意思を示す証拠がない場合に限る。各条項番号およびその採否については、以下のとおり。

A 1. 1 重要な変化

AACR2R2002 21. 2A1 に従い、以下の場合を重要な変化とみなす。

(1) 冒頭の 5 語以内の変化

本タイトルの冒頭の 5 語（冠詞で始まる本タイトルの場合は 6 語）に追加、削除、変化、または語順の変化がある場合

Journalism quarterly

→Journalism & mass communication quarterly

(2) 冒頭の 5 語より後での意味・主題に関わる変化

タイトルの意味を変える、もしくは異なる主題を示すような追加、削除、または変化が冒頭の 5 語より後（冠詞で始まる本タイトルの場合は 6 語より後）にある場合

Advances in enzymology and related subjects of biochemistry

→Advances in enzymology and related areas of molecular biology

(3) 本タイトルに含まれる団体の変化

本タイトル内に現れる団体名に変化があった場合で、この団体が異なる団体である場合

Journal of research of the National Bureau of Standards

→Journal of research of the National Institute of Standards and Technology

(4) 逐次刊行物全体の順序づけを表す表示の変化

年代順のシリーズ表示等、逐次刊行物全体の順序づけを表わす表示の追加・削除・変化が巻次変更に伴って生じた場合（⇒7. 2. 1F2. 8, F2. 9）

Endeavour

→Endeavour. New Series

変更

A 1. 2 軽微な変化

AACR2R2002 21. 2A2 a～i に従い、以下の場合を軽微な変化とみなす。

(1) 語の表記の変化

本タイトル内の 1 つもしくはそれ以上の語の表記が異なる場合。

例えば、以下のようなケースがあてはまる。

異なるつづりを使用

labour ⇔ labor

省略形, 記号, 印 ⇔ それらのつづられた形

and ⇔ &

アラビア数字 ⇔ ローマ数字

XX ⇔ 20

数字・日付 ⇔ それらのつづられた形

20th ⇔ twentieth

ハイフンを使った語 ⇔ 使わない語

year-book ⇔ yearbook

ハイフンの使用, 不使用に関わらず, 1 語による複合語 ⇔ 2 語による複合語

openhouse ⇔ open house

頭字語やイニシアル ⇔ それらの正式形

IC ⇔ integrated circuits

文法的形式の変更(単数形対複数形, など)

study ⇔ studies

(2) 冠詞, 前置詞, 接続詞の追加, 削除, 変化

本タイトル内における冠詞, 前置詞, もしくは接続詞の追加, 削除, または変化

Annual report of transport economy

→Annual report on the transport economy

(3) 団体名の表記の変化

本タイトル内における同一の団体名, その団体の上位/下位組織名, またはそれらの文法的なつながりが異なる場合

(例: 同一の団体名の表記における追加, 削除, または順序の転換, もしくは異形の使用)

Berichte der Gesellschaft für Mathematik und Datenverarbeitung

→GMD-Bericht

(4) 句読記号の追加, 削除, 変化

本タイトル内における句読記号の追加, 削除, または変化。イニシアルや文字列中における句読記号の使用/不使用をも含む。

GBB

→G. B. B.

(5) 顕著に表示されているタイトルの交替

主情報源上により顕著に表示されているタイトルの交替。この場合, 従来からの本タイトルが引き続き主情報源に記載されている必要がある。

AACR2R2002 では適用を本タイトル/並列タイトルの交替にかざっているが, レイアウトの変更等に伴う顕著に表示されているタイトルの交替全般に適用する。 (**NACSIS** 独自規定)

(6) タイトルと順序表示の結合の変化

本タイトル内において, タイトルをその順序表示に結び付けている語の追加, 削除, または変化

Programme of work

→Programme of work for ...

(7) 規則的なタイトルの変化

ある一定のパターンに従った, 逐次刊行物の異なる号における 2 つ以上の本タイトルの使用

7.0.2 複製資料

7.0.2 A〔適用範囲〕

写真複製，電子的複写などの方法で原本を忠実に再現させた複製資料（マイクロ資料，録音資料，コンピュータファイル等，媒体は問わない）に適用する。

図書館等が資料の欠損部分を補うために，一部分のみを複製したものには適用しない。

雑誌の私家複製版については，それ自体が刊行を目的としていないことから，NACSIS-CAT では個別の書誌レコードの作成は行わない。

追加

7.0.2 B〔書誌レコードの作成基準〕

この複製資料に関する書誌レコードの作成基準は，AACR2 と異なり NACSIS 独自のものである。

B 1（原則）

複製資料は，原本とは別の書誌レコードを作成する。

B 2（同一資料からの複製）

同一資料から，同一の方法で作成された複製資料同士については，複製としての版や出版事項の相違により，書誌の異同を判断する。

B 3（合刻複製）

複製時に，別のタイトルを持つ他の逐次刊行物とともに合刻されたものは，たとえそれらが変遷関係にあっても，複製資料全体ではなく収録されている個々の逐次刊行物の単位で書誌レコードを作成する。

7.0.2 C〔データ要素の情報源及び記入〕

各フィールド毎，次のような情報源をもとに記録する。この規則は，NACSIS 独自のものである。

C 1（一般資料種別 GMD，特定資料種別 SMD）

複製自体によって記録する。

GMD:h （マイクロ形態を示すコード「h」を記録）

C 2（刊年 YEAR）

NOTE に注記した原本の出版年を記録する。

C 3（出版国 CTRY）

複製資料の場合，複製版の出版地のコードを記録する。

C 4（言語コード TTLL, TXTL, ORGL）

原本の言語コードを記録する。

C 5（複製コード REPRO）

複製を示すコード「c」を記録する。

REPRO:c

C 6（出版状況等のコード PSTAT, FREQ, REGL, TYPE）

複製資料の場合，記録しない。

C 7（各種番号 ISSN, XISSN, LCCN, CODEN, GPON）

複製資料の場合，複製版の番号等を記録する。原本の ISSN については，XISSN フィールドに記録し，同時

に NOTE フィールドに記録する。(⇒7.2.7F3.17)

C 8 (タイトル及び責任表示 TR)

原本に該当する情報源を採用する。

複製時のタイトルが原本のものと異なる場合は、VT フィールド及び NOTE フィールドに記録する。(⇒7.2.6F2, 7.2.7F3.17)

複製版にのみ関わる責任表示は、ED に版責任表示として記録する。(⇒7.2.2F2)

C 9 (版に関する事項 ED)

複製版の版表示を記録する。版表示がない場合は、補記することが望ましい。

ED:Reprint ed

ED:[Reprint ed.]

原本にのみ関わる版表示および関連事項は、NOTE フィールドに記録する。(⇒7.2.7F3.17)

C 10 (巻次・年月次 VLYR)

原本の巻次・年月次を記録する。

部分的な複製は、複製された範囲に対応する原本の巻次・年月次を記録する。

C 11 (出版・頒布等に関する事項 PUB)

複製資料の場合は、複製時の出版事項を記録する。

C 12 (形態に関する事項 PHYS)

複製資料の場合は、複製時の形態に関する事項を記録する。

C 13 (その他のタイトル VT)

その他のタイトルは、原本及び複製時の情報源のどこからでも採用できる。

複製時に付与された原本と異なるタイトルや合刻複製版の総合タイトルについては、タイトルの種類コード (OH) とともに VT フィールドに記録し、同時に NOTE フィールドにも記録する。(⇒7.2.6F3)

C 14 (注記 NOTE)

注記は、原本及び複製時の情報源のどこからでも採用できる。原本の情報源からの注記としては、以下のようなものがある。(⇒7.2.7F3.17)

1. 原本の ISSN (検索の便宜を考え、XISSN フィールドにも記録する)。
2. 原本のみに関わる版表示
3. 原本の出版事項
4. 原本のタイトル変遷関係

複製時の情報源からの注記としては、以下のようなものがある。(⇒7.2.6F2, F3, 7.2.7F3.17)

1. 複製時に付与された原本と異なるタイトルや合刻複製版の総合タイトル (検索の便宜を考え、VT フィールドにも記録する)
2. 複製時にともに合冊されている他のタイトル (検索の便宜を考え VT フィールドにも記録する)

C 15 (価格等/入手条件 PRICE)

複製資料の場合は、複製時の価格等を記録する。

C 16 (変遷ファミリー ID, 変遷注記 FID, BHNT)

複製資料間のタイトル変遷に関する事項は、ここに記録しない。原本のタイトル変遷関係は、NOTE フィールドに記録する。(⇒7.2.7F3.17)

7.0.3 総称的タイトル

逐次刊行物のタイトルが総称的な語からなる場合、他の逐次刊行物との識別を容易にするため、TR フィールドには必ず責任表示を記録する（⇒7.2.1F5.4, F5.5）。

7.0.3A [判定基準]

総称的なタイトルであるかどうかの判定は、LC における次の判定基準（訳）に準拠して行う（Cataloging service, Bulletin. 112, p. 10-11）。

『Cataloging service, Bulletin. 総称的な語

Cataloging Service, bulletin 110, p. 3において、総称的な語だけで構成されるタイトルの逐次刊行物の場合、LCは次のような運用をとることを公表した。すなわち、そのようなタイトルの記録に際しては、総称的な語の後に著者表記を続け、2つの要素はスペース、ハイフン、スペースで区切る。

以下のガイドラインは、総称的な語だけで構成されたタイトルかどうかの判定のために作成されたものである。これは、ISDSの未刊行のガイドラインに拠るものである。このガイドラインは、国内ISDSセンターが採用している。

1. ISDS における総称的な語の定義は、「出版物の種類および（または）頻度を示すもの」である。各々の判断は、この定義に拠るものとする。

(例)

Annual conference proceedings
Annual report
Bulletin
Circular
Journal
Membership directory
Occasional newsletter
Official report
Pamphlet
Preliminary report
Proceedings of the conference
Program
Record
Research paper
Review
Special report
Transactions

2. タイトル中に主題内容や範囲を示す語を含む（あるいはこれらの語によって構成されている）場合は、総称的とはみなさない。

(例)

Anthropological reports
Seismological bulletin
Astronomy
Behavioral science series
Chemical bulletin
Clinical science
Science bulletin
Medical series bulletin

3. タイトル中に出版物の頻度または種類を示す語以外のものを含む場合は、通常総称的タイトルとみなさない。

(例)

Average monthly weather outlook

External trade statistics

Employment statistics

Nationalities papers

Staff papers series

Services and organization guide

Summary of general legislation

Technical services program

Training & methods series

Tutorial lecture series

State salary survey

4. タイトルが頭字語やイニシャル語を含む（あるいはそれらで構成されている）場合、総称的とみなさない。

(例)

B. E. A. staff paper

B. I. S. report

Research report ADM

Bulletin GT

5. 一般的に、タイトルが5語より多い語（重要でない語は除く）で構成されている場合、総称的とみなさない。

(例)

Directory of faculty, professional and administrative staff, and students

Appropriation statements by departments and agencies, all funds

Annual descriptive report of program activities for vocational education

~~*Annual report : National resources and recreation agencies*~~

削除

6. その語が総称的かどうか疑わしい場合、総称的とみなしてよい。』

7.2.1 TR

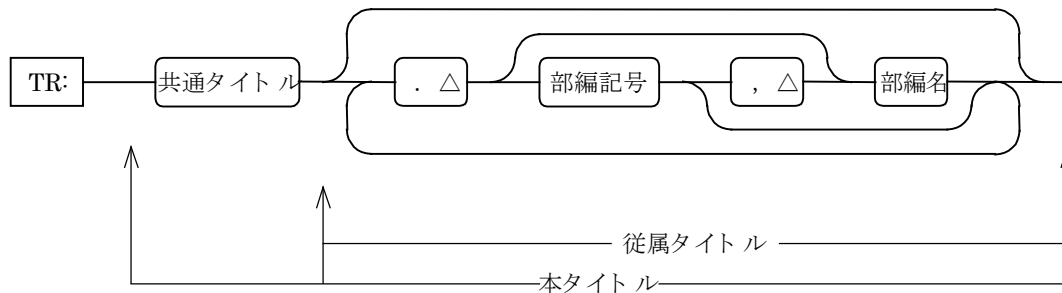
7.2.1A〔形式〕

TR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
タイトル及び責任表示に関する事項	必須 1	可変長		無
タイトル, 責任表示			1024 バイト	1
本タイトル	必須 1			無
タイトル関連情報	必須 2			有
並列タイトル	必須 2			有
並列タイトル関連情報	選択			有
責任表示	必須 2			有
並列責任表示	選択			有
タイトルのヨミ *1			1024 バイト	1
本タイトルのヨミ	必須 2			無
タイトル関連情報のヨミ	選択			有
並列タイトルのヨミ	選択			有
並列タイトル関連情報のヨミ	選択			有

*1 ヨミは、タイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

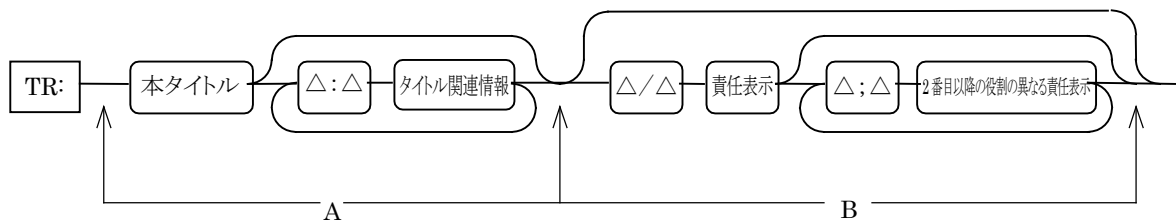
7.2.1B〔記述文法〕

(1) 本タイトルが共通タイトルと従属タイトル（部編記号，部編名）からなる場合

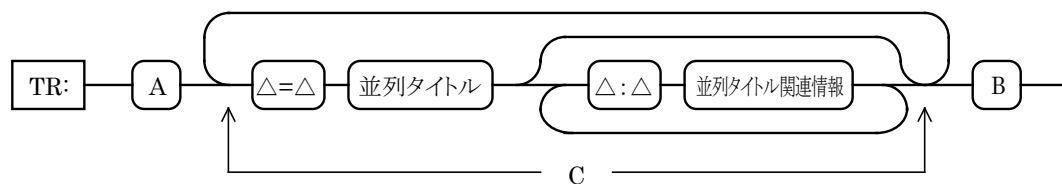


(2) 本タイトル，タイトル関連情報，責任表示，~~（2 番目以降の役割の異なる責任表示）~~

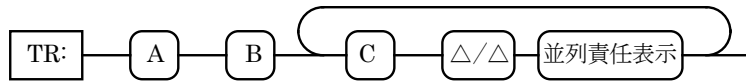
削除



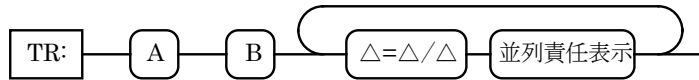
(3) 並列タイトル，並列タイトル関連情報がある場合[A, B の部分は，(2) と同じ]



- (4) 本タイトルと責任表示が並列する場合 [A～Cの部分は(2)、(3)と同じ]

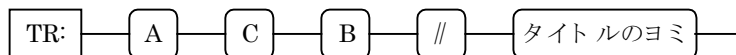
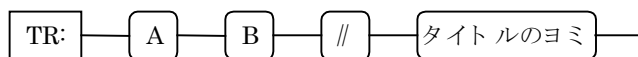


- (5) 責任表示のみが並列する場合 [A, Bの部分は(2)と同じ]



- (6) ヨミを記録する場合 [A～Cの部分は(2)、(3)と同じ]

(ヨミは、常に最後のデータ要素として記述する。ヨミの部分の記述文法は、A, Cに対応する)



7.2.1C [AACR2の区切り記号の採否]

区切り記号法は、AACR2R88, AACR2R2002の1.1A1(区切り記号法)および12.1A1(区切り記号法)に準拠する。ただし、エリア間の区切り記号については、採用しない。

また、一般資料表示の区切り記号は、採用しない。資料種別は、GMDフィールド、SMDフィールドに記録する。

7.2.1D [フィールド内容とデータ要素]

TRフィールドには、目録対象資料の本タイトル、タイトル関連情報、および責任表示をフィールド中のデータ要素として記録する。

それぞれのデータ要素に対応する並列データ要素は、1あるいは複数存在することがある。

タイトル関連情報および責任表示は、1あるいは複数存在することがある。

7.2.1E [データ要素の情報源]

本タイトル、タイトル関連情報、並列タイトル、責任表示の規定の情報源は、AACR2R88 12.0B1に従い、初号のタイトルページとする。(⇒ 7.0D2, D3)

ただし、タイトルページを欠く記述対象の場合はタイトルページの代替物とする。

また、初号がない場合は、所蔵する最も古い号とする。

第8章 著者名典拠レコード（日本名：個人）

この章では、著者名典拠ファイルに登録すべき日本名のうち個人名のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

第9章から第13章で規定する事項のうち、この章と共通するものについては、それぞれの章でさらに別の規定が示されていない限り、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との関係〕

それぞれのフィールドにデータ記入を行う際に準拠すべき「日本目録規則1987年改訂版」（以下NCR 87Rという）の条項番号を以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」と相違する事項については、「目録情報の基準」に従うことに注意する必要がある。（⇒第50章、第51章）

8.0.1	個人名，団体名，会議名	——
8.0.2	日本名，日本名以外	——
8.1.1	ID	——
8.1.2	MARCF LG	——
8.2.1	HDNG	23.2.1, 23.3.3
8.3.1	TYPE	——
8.3.2	UNID	——
8.3.3	PLACE	——
8.3.4	DATE	——
8.4.1	SF	23.6.1
8.4.2	SAF	23.6.2
8.5.1	NOTE	——

変更

8. 1. 2 MARCFLG

|
変更

8. 1. 2 A [形式]

MARCFLG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	自動付与	可変長	7バイト	1

|
変更

8. 1. 2 B [フィールド内容とデータ要素]

MARCFLGには、流用元参照レコードに対して定期更新時に何らかの修正が行われたことを示す英数字7桁から成るコードがデータ要素として記録される。

|
変更

8. 1. 2 [データ記入及び表示例]

変更ありフラグは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録担当者が入力することはできない。

なお、変更ありフラグが表示されているレコードに対してEDITコマンドが発行された場合は、登録コマンド発行後、目録システムは、MARCFLGフィールドの表示を行わなくなる。当該レコードに対して再度変更ありフラグが表示されるのは、流用元参照レコードに対して再び修正が行われた場合のみである。

|
変更

流用元参照レコードに対してレコード修正が行われた場合

MARCFLG:arrived

|
変更

流用元参照レコードが削除された場合

MARCFLG:deleted

|
変更

流用元参照レコードに対して修正が行われていない場合は、このフィールド自体が表示されない。

8. 2. 1 D〔データ記入及び記入例〕（続）

D 4（標目形）（続）

D 4. 8 仏家，僧侶の名称

D 4. 8. 1

仏家，僧侶の名称については，基本的には最もよく知られた名称を採用する。したがって一般的には法名，法諱等の名称を採用する。また尊称（大師，国師，上人，阿闍梨等）及び法名と共につけられる「釈」についてはこれを含めた形のもの採用しない。

ただし，禅宗の道号と法諱等の合成形については，その形がよく知られている場合には採用する。

変更

HDNG:空海(774-835) || ヲカイ

（俗姓の佐伯は記述しない。また弘法大師も採用しない）

HDNG:覚猷(1053-1140) || カキウ

（鳥羽僧正の名前は採用しない）

HDNG:夢窓疎石(1275-1351) || ムソウ ソセキ

（夢窓国師の形は採用しない）

HDNG:円信 || エンシン

（釈円信の形は採用しない）

変更

D 4. 8. 2

尼僧における「尼」の名称については，これを切り離さず，全体を1語とする。また，ヨミも全体で1語とする。

HDNG:慧信尼 || エシンニ

（エシンニ とはしない）

D 4. 9 その他

姓と名の間に「ノ」を入れて読まれる場合のヨミについては，原則として「ノ」は記録しない。

ただし例外的に姓が一音節の場合には姓のヨミに「ノ」を加えた形で記録する。また続柄を表す「ノ」については前後にスペースを入れてその一文字のみを独立させた形で記録する。

HDNG:藤原，公任(966-1041) || フジワラ，キントウ

（フジワラノ とはしない）

HDNG:菅原，道真(845-903) || スガワラ，ミチサネ

（スガワラノ とはしない）

HDNG:小野，篁(802-852) || オノ，タムラ

（オノノ とはしない）

8. 2. 1 D〔データ記入及び記入例〕（続）

D 4（標目形）（続）

D 4. 9 その他（続）

HDNG:紀, 長谷雄(845-912) || キノ, ハセオ
 （姓が1音節の場合の例外）

HDNG:菅原孝標女(1008-) || スガワラ タカエ ノ ムスメ
 （続柄を示す「ノ」の場合の例外）

また架空、あるいは想像上の人物については、その名称の形によって上記の例のいずれかに対応させて記録する。

8. 2. 1 E（選択事項）

名称がすべてカタカナ、英字、数字から構成されている場合の名称のヨミについて、記録するかどうかは各参加機関が自由に選択する。ただし、分かち書きによる記述が可能な場合は検索時の便宜を考慮し、分かち書きによるヨミを記録する。

8. 2. 1 F 《注意事項》

F 1

著名な著者や多作な著者の、一般的に最もよく知られた形を標目として採用するかどうかについては、次の点を判断材料にする。

- 1) 大多数の著作に用いられている形
- 2) 多くの二次資料に記載されている形

しかし、この結果として現在ある標目形を修正・変更しなければならない場合は、原則として採用しない。（⇒第25章 レコード修正（著者名典拠レコード））

F 2

名称が複数の著者からなる共同ペンネームである場合について、そのペンネームの下に実際の著作を行っている個人に、変更がないことが確認できる場合は、そのペンネームは原則個人名とみなす。

F 3

中国、朝鮮・韓国人名の名称及び名称のヨミについては別途検討する。

第9章 著者名典拠レコード（日本名：団体名）

この章では、著者名典拠ファイルに登録すべき日本名のうち団体名のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

第12章で規定する事項のうち、この章と共通するものについては、第12章でさらに別の規定が示されていない限り、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

この章で特に規定されていない事項については、第8章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との関係〕

それぞれのフィールドにデータ記入を行う際に準拠すべき「日本目録規則1987年版改訂版」（以下NC R 8 7 Rという）の条項番号を以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」と相違する事項については、「目録情報の基準」に従うことに注意する必要がある。（⇒第50章、第51章）

9.0.1	個人名，団体名，会議名	—
9.1.1	I D	—
9.1.2	M A R C F L G	—
9.2.1	H D N G	23.2.2, 23.3.4
9.3.1	T Y P E	—
9.3.2	U N I D	—
9.3.3	P L A C E	—
9.3.4	D A T E	—
9.4.1	S F	23.6.1
9.4.2	S A F	23.6.2
9.5.1	N O T E	—

変更

9. 1. 2 MARCFLG

変更

9. 1. 2 A [形式]

MARCFLG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	不使用	可変長	7バイト	1

変更

9. 1. 2 B [フィールド内容とデータ要素]

MARCFLGフィールドは当面不使用とする。

変更

9. 1. 2 C [データ記入及び表示例]

MARCFLGフィールドには、変更ありフラグ等、いかなるデータも記入してはならない。

変更

第 12 章 著者名典拠レコード（日本名以外：団体名）

この章では、著者名典拠ファイルに登録すべき日本名以外のうち団体名のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

【目録規則との関係】

この章のそれぞれの項目において準拠すべき「英米目録規則第 2 版（1988 年改訂，1993 年修正）」（以下 AACR2 という）の条項番号を以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

円括弧内の番号は、参照すべきであるが準拠するわけではない条項を示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」と相違する事項については、「目録情報の基準」に従うことに注意する必要がある。（→ 第 50 章，第 51 章）

12.1.1	ID	—
12.1.2	MARCFLG	—
12.2.1	HDNG	24
12.3.1	TYPE	—
12.3.2	UNID	—
12.3.3	PLACE	—
12.3.4	DATE	—
12.4.1	SF	(24)
12.4.2	SAF	(24)
12.5.1	NOTE	—

変更

12.1.2 MARCFLG

|
変更

12.1.2A [形式]

MARCFLG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	自動付与	可変長	7 バイト	1

|
変更

12.1.2B [フィールド内容とデータ要素]

MARCFLG には、流用元参照レコードに対して定期更新時に何らかの修正が行われたことを示す英数字 7 桁から成るコードがデータ要素として記録される。

|
変更

12.1.2C [データ記入及び表示例]

変更ありフラグは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録担当者が入力することはできない。

なお、変更ありフラグが表示されているレコードに対して EDIT コマンドが発行された場合は、登録コマンド発行後、目録システムは、MARCFLG フィールドの表示を行わなくなる。当該レコードに対して再度変更ありフラグが表示されるのは、流用元参照レコードに対して再び修正が行われた場合のみである。

|
変更

流用元参照レコードに対してレコード修正が行われた場合

MARCFLG:arrived

|
変更

流用元参照レコードが削除された場合

MARCFLG:deleted

|
変更

流用元参照レコードに対して修正が行われていない場合は、このフィールド自体が表示されない。

第 14 章 統一書名典拠レコード（日本名）

この章では、統一書名典拠ファイルに登録すべき日本名のレコードについて、新規入力におけるデータ記入の方法を示す。

流用入力及びレコード修正におけるデータ記入の方法のうち、それぞれの章で特に規定されていない事項については、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

第 15 章で規定する事項のうち、この章と共通するものについては、その章でさらに別の規定が示されていない限り、この章の規定に従ってデータ記入を行う。

〔目録規則との関係〕

データ記入を行う際は「日本目録規則 1987 年版改訂版」（以下「NCR 87R」という）に準拠する。また音楽作品名に対するレコードのデータ記入を行う際は、音楽図書館協議会目録委員会編「日本目録規則本版音楽作品の統一タイトル（案）」（1985.12.18）（以下、「音図協案」と略す。また、本章で特に断りなく「NCR 87R」という場合は、「音図協案」も含める）をも参照する。

それぞれのフィールドにデータ記入を行う際に準拠すべき「NCR 87R」及び「音図協案」の条項番号を以下に示す。

「—」は、準拠すべき条項が存在しないことを示す。

なお、準拠すべき条項であっても、「目録情報の基準」及び本マニュアルと相違する事項については、「目録情報の基準」及び本マニュアルに従うことに注意する必要がある。

（⇒第 50 章、第 51 章）

14.0.1	日本名，日本名以外	—
14.1.1	ID	—
14.1.2	MARCF LG	—
14.2.1	HDNG	26.2 (音図協案) 2, 3, 4, 5, 6, 7
14.3.1	UNID	—
14.4.1	SF	(音図協案) 9
14.4.2	SAF	—
14.5.1	NOTE	—

変更

14.1.2 MARCFLG

|
変更

14.1.2A〔形式〕

MARCFLG	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
変更ありフラグ	自動付与	可変長	7バイト	1

|
変更

14.1.2B〔フィールド内容とデータ要素〕

MARCFLGフィールドには、流用元参照レコードに対して定期更新時に何らかの修正が行われたことを示す英数字7桁から成るコードがデータ要素として記録される。

|
変更

14.1.2C〔データ記入及び表示例〕

変更ありフラグは、目録システムが自動的に付与するものであり、目録担当者が入力することはできない。

なお、変更ありフラグが表示されているレコードに対してEDITコマンドが発行された場合は、登録コマンド発行後、目録システムは、MARCFLGフィールドの表示を行わなくなる。当該レコードに対して再度MARCFLGフィールドが表示されるのは、流用元参照レコードに対して再び修正が行われた場合のみである。

|
変更

流用元参照レコードに対してレコード修正が行われた場合

MARCFLG:arrived

|
変更

流用元参照レコードが削除された場合

MARCFLG:deleted

|
変更

流用元参照レコードに対して修正が行われていない場合は、このフィールド自体が表示されない。

第 2 5 章 著者名典拠レコード（日本名）修正

この章では、著者名典拠レコード（日本名）のレコード修正について、その方針、判断基準、及び修正時のデータ記入の方法を示す。

ここでは、個人名／団体名／会議名のすべてを含む。

〔通則〕

著者名典拠ファイルに登録されたすべての著者名典拠レコードは、当該著者名典拠レコードが国立情報学研究所で定めた基準や、目録規則などに照らして誤りであると判断されない限り、原則として最初に作成された著者名典拠レコードを維持する。

逆に、国立情報学研究所で定めた基準や、目録規則などに照らして誤りであることが明らかである場合には、当該著者名典拠レコードの修正を行う必要がある。

変更

25. 0 著者名典拠レコード（日本名）修正指針

25. 0 A 〔修正の範囲〕

A 1

次の場合には、修正を行う必要がある。

- 1) データに明らかな誤りがある。
- 2) データが基準や目録規則と合致しない。

A 2

ただし、HDNGフィールドについては、「原則として最初に作成された標目を維持する」という典拠レコードの基本的な方針から、相応の理由がない限り、すでに登録されている標目形を採用するものとする。

A 3

HDNGフィールドの修正を行わないものとして、以下の事項がある。

- 1) 著名な著者や多作な著者について、一般的に最もよく知られた形を標目として採用すべきであると判断されるような場合であっても、原則としてHDNGフィールドの修正は行わず、SFフィールドに記述する。
- 2) 名称のヨミについて、既に記載されている名称のヨミとは異なるヨミが複数の資料に記載されているようなことが発生した場合、修正するか否かは8.2.1 HDNG<注意事項>に記載されているリンク付けを基に検討する。
- 3) 付記事項のうち、著者の没年のみを追加する修正は原則として行わず、DATEフィールドに記入するものとする。

これらについては「第Ⅰ部データ記入第8章著者名典拠レコード（日本名：個人名）8.2.1HDNG<注意事項>」の項を参照すること。

A 4

修正は原則として常にレコード内のデータが正確かつ豊富になる方向で行う。

ただし、個人名については、その情報が個人のプライバシーの問題にかかわる場合があるため著者の同意上、必要最低限の記述に留めることが望ましい。

25. 0 B 〔修正時の基本的対応〕

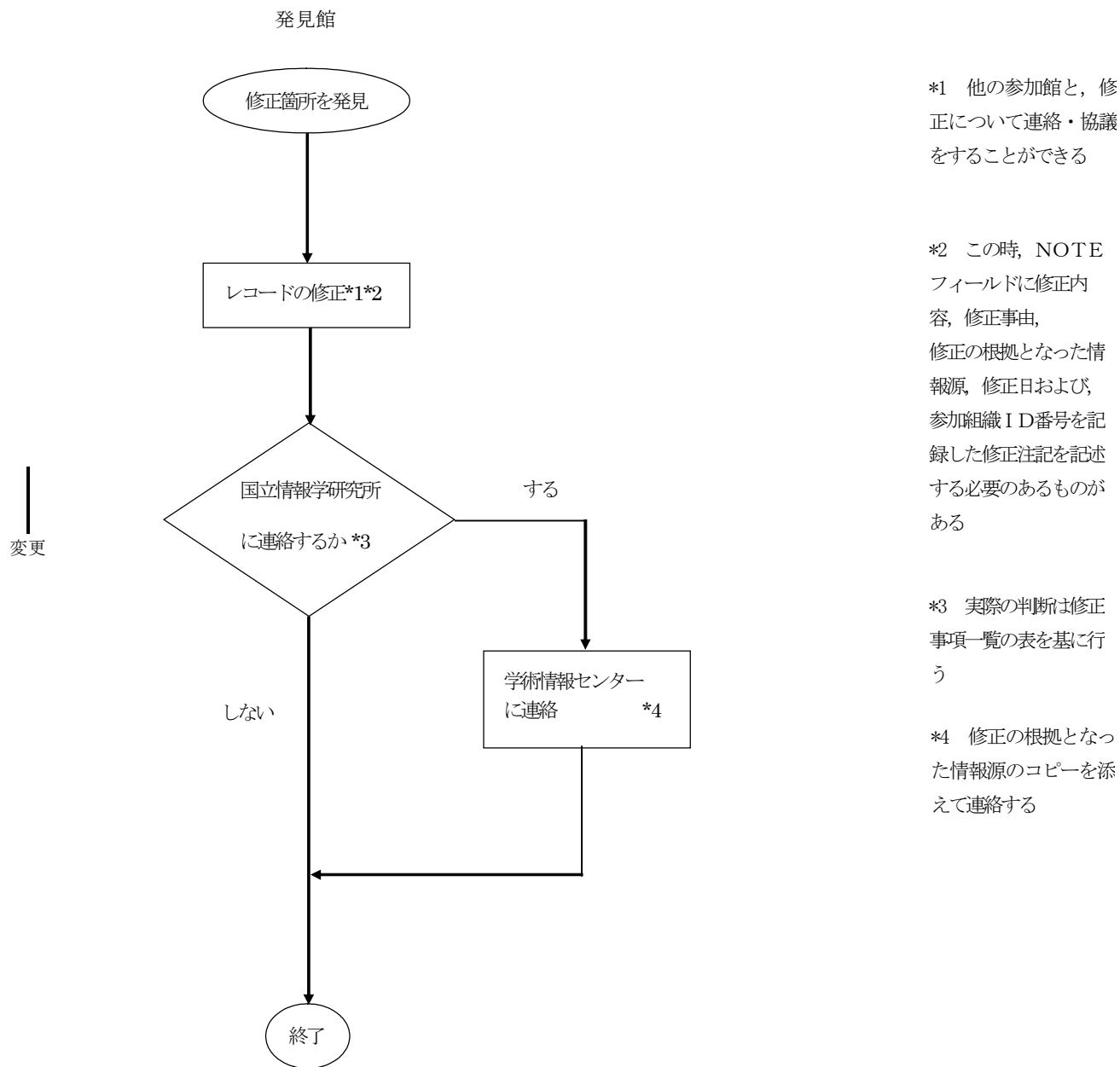
修正項目を発見した館（以下、「発見館」という）は修正の内容を慎重に検討した上で、当該著者名典拠レコードを独自に修正することができる。

その際に、必要に応じて他の参加館と、修正について連絡・協議をすることができる。

修正の内容によっては、国立情報学研究所に対して連絡の必要な場合がある。どのような修正のときに国立情報学研究所に連絡するかは、修正事項一覧を参照すること。また、連絡に際しては修正の根拠となった情報源のコピーを添えるものとする。

変更

25.0C〔修正作業流れ図〕



25. 0 D〔注意事項〕

D 1

典拠レコードは、図書書誌レコード、雑誌書誌レコードの両方にリンクしている場合があることに留意しなければならない。

D 2

国立情報学研究所への連絡を要する事項については修正の際に必ず、その修正内容、修正事由、修正の根拠となった情報源、修正日及び参加組織 I D 番号を記録した修正注記を、NOTE フィールドに記述するものとする。

変更

この記述は、後の記述の確認を、より容易に行うことができるようにするためである。

記述例は〔修正事項一覧〕を参照すること。

D 3

NOTE フィールドにおいては、原則として、データの修正及び削除は行なわない。

ただし、以下の場合には、この限りではない。

1) 他のフィールドの修正・削除の結果、そのフィールドに関する注記の修正・削除の必要が生じた場合には、併せて修正注記を修正・削除することができる。

~~2) レコードの作成・修正時にシステムにより埋め込まれる SRC: あるいは EDSRC: が他の NOTE フィールドと重複するなどの理由により不必要と考えられる場合には、修正・削除することが出来る。~~

51. 1 P〔第13章〕（逐次刊行物）（続）

P 8〔13. 7. 3. 2 A別法〕（タイトル変遷による注記）

本則も別法も採用しない。

タイトル変遷による注記は、目録担当者の報告を基に国立情報学研究所が確証作業を行ったのちに、F I Dフィールド及びB H N Tフィールドに反映される。

変更

~~〔14. 9. 3. 1 B別法〕（逐次刊行レベルの記録の構成）~~

~~別法を採用する。~~

~~別法に従い、集合単位のタイトルは共通タイトルとして、逐次刊行単位のタイトルは部編名として、T Rフィールドに記録する。~~

~~ただし、集合単位のタイトルが逐次刊行単位のタイトルと同一の情報源上に表示されていない場合、当該集合単位のタイトルは、V Tフィールドに記録する。~~

P 9〔13. 10. 1 別法〕（記録の対象：所蔵事項）

本則も別法も採用しない。

所蔵年次はH L Y Rフィールドに、所蔵巻号次はH L Vフィールドに記録する。所蔵巻号次は所蔵しているものを記録する。

51. 1 S〔第23章〕（著者標目）

~~〔23. 1. 0 別法〕（著者標目の選択）~~

~~この条項については、別途検討を行う。~~

S 1〔23. 2. 1. 4 D別法〕（標目の形：外国人名）

S 2〔23. 2. 2. 6 F別法〕（標目の形：外国の団体）

外国人名、外国の団体等はA A C R 2によって典拠作業を行うので、これらの条項は無関係である。

S 3〔23. 2. 2. 6 G別法〕（標目の形：国際団体）

この条項については、別途検討を行う。

5 1. 1 S〔第23章〕（著者標目）（続）

S 4〔23. 3. 0 別法〕（標目の表わし方：外国の人名，団体名等）

外国人名，外国の団体等はAACR 2によって典拠作業を行うので，これらの条項は無関係である。

5 1. 1 W〔標目付則〕

W 1〔付則1. 3 別法〕（片かな表記法：アルファベット）

「基準」に従い，別法を採用する。

タイトル，統一標目形等がアルファベットで表示されるか，その一部にアルファベットを含む場合は，そのままアルファベットで表記する。

W 2〔付則1. 4 別法〕（片かな表記法：数字）

「基準」に従い，本則も別法も採用しない。

5 1. 1 X〔第Ⅲ部〕（排列）

目録システムにおいては，第Ⅲ部全体が無関係である。

5 1. 1 Z《注意事項》

以上に挙げていない別法条項については，別途検討を行う。

〔コード表〕 (続)

コード	言語名
n a h	Nahuatl ⇐ Aztec (アステカ語)
n a u	Nauru (ナウル語)
n a v	Navajo (ナヴァホ語)
n b l	Ndebele (South Africa)
n d e	Ndebele (Zimbabwe) (マタベレ語)
n d o	Ndonga
n a p	Neapolitan Italian
n e p	Nepali (ネパール語)
n e w	Newari (ネワール語)
n w c	Newari, Old
n i a	Nias
n i c	Niger-Kordofanian (Other) (ニジェール・コルドファン諸語)
s s a	Nilo-Saharan (Other) (ナイロ・サハラ諸語)
n i u	Niuean (ニウエイ語)
n q o	N'Ko
n o g	Nogai
n a i	North American Indian (Other) (北米インディアン諸語)
f r r	North Frisian
s m e	Northern Sami
n s o	Northern Sotho
n o r	Norwegian (ノルウェー語)
n o b	Norwegian (Bokmål)
n n o	Norwegian (Nynorsk)
n u b	Nubian languages (ヌバ語)
n y m	Nyamwezi (ムエジ語)
n y a	Nyanja (ニヤンジャ語)
n y n	Nyankole
n y o	Nyoro
n z i	Nzima
o c i	Occitan (post-1500) (旧コード「l a n」は使用しない)
x a l	Oirat (Kalmyk)
o j i	Ojibwa (オジブワ語) Chippewa (チペア語)
n o n	OldNorse (古期スカンジナビア語)
p e o	OldPersian (ca. 600-400 B.C.) (古代ペルシャ語)
o r i	Oriya (オリヤー語)
o r m	Oromo (旧コード「g a l」は使用しない)
o s a	Osage (オーセージ語)
o s s	Ossetic (オセト語)
o t o	Otomian languages (オトミ語族)
	Ottoman Turkish (オスマントルコ語) ⇒ Turkish, Ottoman

〔コード表〕 (続)

コード	言語名
p a l	Pahlavi (パーラヴィー語)
p a u	Palauan (パラオ語)
p l i	Pali (ペーリ語)
p a m	Pampanga (パンパンガ語)
p a g	Pangasinan (パンガシナーン語)
p a n	Panjabi (パンジャブ語)
p a p	Papiamento (パピアメント)
p a a	Papuan (Other) (パプア諸語)
p e r	Persian (ペルシャ語)
p h i	Philippine (Other)
p h n	Phoenician
p o n	Pohnpeian
p o l	Polish (ポーランド語)
p o r	Portuguese (ポルトガル語)
p r a	Prakrit languages (プラークリット諸語)
p r o	Provençal(to 1500) (古期プロヴァンス語)
p u s	Pushto (プシュトゥー語)
q u e	Quechua (キチュワ語)
r o h	Rhaeto-Romance (レトロマン語)
r a j	Rajasthani (ラージャスターニー語)
r a p	Rapanui (ラパヌーイ語)
r a r	Rarotongan
r o a	Romance (Other) (ロマンス諸語)
r o m	Romani (ロマニ語)
r u m	Romanian (ルーマニア語)
	Ruanda (ルワンダ語) ⇒ Kinyarwanda (キンヤルワンダ語)
r u n	Rundi (ルンディ語)
r u s	Russian (ロシア語)
s a l	Salishan languages (サリシュ語族)
s a m	Samaritan Aramaic (サマリア語)
s m i	Sami (旧コード「l a p」は使用しない)
s m o	Samoan (サモア語) (旧コード「s a o」は使用しない)
s a d	Sandawe (サンダウェ語)
s a g	Sango (Ubangi Creole) (サンゴ語)
s a n	Sanskrit (梵語)
s a t	Santali (サンターリー語)
s r d	Sardinian
s a s	Sasak (ササク語)

変更

付録 1. 5 主題関係のコード表

ここでは、主題目録作業にかかわる、次の 3 種類のコードの一覧を行う。

- 1) 分類表の種類コード
- 2) 件名標目表の種類コード
- 3) 件名の種類コード

〔分類表の種類コード表〕

以下では、コードのアルファベット順に分類表の種類コードを示す。

コード	分 類 表 の 種 類
BBK	学術図書館用図書・書誌分類表（ロシア）
BC	書誌分類法（Bibliographic Classification）
CC	コロソ分類法（Colon Classification）
CCAS	中国科学院図書館図書分類法分類学
CLC	中国図書館分類法分類学
CLC2	CLC2 版
CLC3	CLC3 版
DC	デューイ十進分類法（Dewey Decimal Classification）
DC17	DC17 版
DC18	DC18 版
DC19	DC19 版
DC20	DC20 版
DC21	DC21 版
DC22	DC22 版
DC23	DC23 版
KDC	韓国十進分類法（Korean Decimal Classification）
KDC2	KDC2 版
KDC3	KDC3 版
KDC4	KDC4 版
KDCP	KDC
LCC	米国議会図書館分類表（Library of Congress Classification）
NDC	日本十進分類法（Nippon Decimal Classification）
NDC6	NDC6 版
NDC7	NDC7 版
NDC8	NDC8 版
NDC9	NDC9 版
NDC10	NDC10 版
NDLC	国立国会図書館分類表（National Diet Library Classification）
NLM	国立医学図書館分類表（National Library of Medicine Classification）
SG86	ドイツ国立図書館 分類表
SG	ドイツ国立図書館 分類表
UDC	国際十進分類法（Universal Decimal Classification）

追加

追加

〔件名標目表の種類コード表〕

以下では、コードのアルファベット順に件名標目表の種類コードを示す。

コード	件 名 標 目 表 の 種 類
B I S A C S H	B I S A C Subject Headings
B L S H	英国図書館作成件名標目（固有名件名）
B S H	基本件名標目表（Basic Subject Headings）
C S H E	カナダ国立図書館件名標目表（英語）（Canadian Subject Headings）
C S H F	カナダ国立図書館件名標目表（仏語）（Répertoire des vedettes-matière）
C T S H	中国分類主題詞表（含「漢語主題詞表」）
E C S H	欧州共同体シソーラス（EUROVOC）
J U S H	米国議会図書館児童図書用件名標目表（LC Subject Headings for children's literature）
J V S H	（同上）
L C S H	米国議会図書館件名標目表（Library of Congress Subject Headings）
M E S H	国立医学図書館件名標目表（Medical Subject Headings）
N A L S H	国立農業図書館件名標目表（National Agricultural Library subject authority file）
N D L S H	国立国会図書館件名標目表（National Diet Library List of Subject Headings）
O E C D S H	経済協力開発機構シソーラス（Macrothesaurus）
P R E C I S	P R E C I S（Preserved Context Index System）
R A M	R A M E A U: repertoire d' autorite de matieres encyclopedique unfile（Paris: Bibliothèque nationale）
R S W K	ドイツ国立図書館件名標目表（Regeln für den Schlagwortkatalog）
D D B	ドイツ国立図書館件名標目表（Die Deutsche Bibliothek）
S W D	ドイツ国立図書館件名標目表（Schlagwortnormdatei）
S H I B U S H	京都大学人文科学研究所漢字情報研究センター四部分類件名標目表
U N S H	国連シソーラス（UNBIS thesaurus）
F R E E	その他の件名標目表等（other subject heading system/thesauri）

「FREE」は目録担当者が自由に記述するものではなく、何らかの統制された標目表があり、それに基づいて記載する場合に使用する種類コードである。例えば、各機関独自で決めた標目表や寄贈文庫を整理する際に決めた標目表など、使用する標目表が標目表の種類に上げられていない場合に「FREE」を用いる。

〔件名の種類コード表〕

以下では、コードのアルファベット順に件名の種類コードを示す。

コード	件 名 の 種 類
A	個人名（personal name）
B	団体名（corporate name）
C	会議名（meeting name）
D	統一タイトル（uniform title）
E	地名件名
F	地理的名称（geographic name）
G	地理的名称（転置形）（reversed geographic）

H	非統制標目 (index term—uncontrolled)
J	ジャンル指示用標目 (genre/form)
K	普通件名 (topical term)
L	個人名以外の件名
M	統一タイトル

《注意事項》

分類表の種類コード「DC」は、デューイ十進分類法の 17 版～22 版以外の版を用いる場合にのみ使用する。
デューイ十進分類法の 17 版, 18 版, 19 版, 20 版, 21 版又は 22 版を用いる場合は、コード「DC」を選択してはならない。

分類表の種類コード「NDC」は、日本十進分類法の 6 版～9 版以外の版を用いる場合にのみ使用する。
日本十進分類法の 6 版, 7 版, 8 版又は 9 版を用いる場合は、コード「NDC」を選択してはならない。

米国議会図書館児童図書用件名標目表に対応するコードとして「JUSH」と「JVSH」のどちらを用いるかは、各参加組織が自由に選択する。

新規入力において（及び SH フィールド追加時）は、件名の種類コード表に掲載されているコードのうち、下表左欄に示すコードは使用不可能である。

件名の種類コードとしてこれらのコードを選択してはならない。代わりに、右欄のコードを使用する。

コード	件名の種類	使用コード
E	地名件名	F
G	地理的名称（転置形）	
L	個人名以外の件名	B C D F H J 又はK
M	統一タイトル	D

付録 5. 1 図書書誌レコード項目一覧

	項目（画面項目名）	データ入力レベル		内容及び記述規則概要
	データ要素	子書誌	親書誌	
I D & コ ー ド ブ ロ ッ ク	レコードID（＜ID＞）	S	S	当該レコードに対してシステムが付与した一意番号が自動的に表示される
	更新タイプ（MARCS T）	S	S	当該レコードの更新状況が自動的に表示される （参照レコードのみ） n：新規レコード c：修正レコード 等
	変更ありフラグ （MARCF LG）	S	S	流用元参照レコード更新状況が自動的に表示される（流用レコードのみ） arrived：修正あり deleted：削除
	一般資料種別（GMD）	A	O	記述対象資料の一般資料種別をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	特定資料種別（SMD）	O	O	記述対象資料の特定資料種別をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	刊年1，刊年2 （YEAR）	A	O	出版・頒布等の日付（PUB）に対応する年を西暦で記録する 刊年1には，主たる出版・頒布等の日付を記録する 刊年2には，出版・頒布等の日付が複数にわたる場合の刊行終了年を記録する 不確実な年代は，推定箇所を「－」で示す （196－ 19－ 等）
	刊年1	M	M	
	刊年2	A	A	
	出版国コード （CNTRY）	A	O	出版地・頒布地等（PUB）に対応する国名・地域名をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	本タイトルの言語コード （TTLL）	M	M	本タイトル（TR）の言語名をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	本文の言語コード （TXTL）	M	M	本文の言語名をコード化して記録する 複数言語の場合は，コードを繰り返す USMARCのコード体系に準拠する

変更

変更

	項目名（画面項目名）		データ入力レベル		内容及び記述規則概要
	データ要素		子書誌	親書誌	
I D & コ 物 理 単 位 ロ ッ ク	原本の言語コード (ORGL)		O	O	翻訳等の原本の言語名をコード化して記録 することができる 複数言語の場合は、コードを繰り返す USMARCのコード体系に準拠する
	複製コード (REPRO)		A	A	記述対象資料が複製資料であれば「c」を 記録する 複製でない場合は、何も記録しない
	出 版 物	巻冊次等 (VOL)	A	A	出版物理単位の巻冊次等及び製本種別等の説明 語句を記録する
		出巻冊次等	A	A	
		説明語句	A	A	
	国際標準図書番号 (ISBN)		A	A	記述対象資料のISBNを記録する 要素の区切り記号「-」は、記入しなくてもよい
	理 単 位	価格／入手条件 (PRICE)	O	O	定価等の入手条件を記録することができる
		価格／入手条件	O	O	
		説明語句	O	O	
	取消／無効ISBN (XISBN)		A	A	ISBNフィールドに記録しない、番号が不正 な無効ISBN、使用されなくなった取消ISBN 等を記録する
	国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)		A	A	記述対象資料のISSNを記録する 要素の区切り記号「-」は、記入しなくてもよい
	全国書誌番号 (NBN)		A	A	記述対象資料の出版国における全国書誌番号 (和図書であればJP番号) を記録する 要素の区切り記号「-」は、記入しなくてもよい
	LCカード番号 (LCCN)		A	A	米国議会図書館 (LC) の頒布するカードの番 号を記録する 要素の区切り記号「-」は、記入しなくてもよい

付録5. 3 雑誌書誌レコード項目一覧

	項目名 (画面項目名)	データ 入力レベル	内容及び記述規則概要	
	データ要素			
I D & コ ー ド ブ ロ ッ ク	レコードID (<ID>)	S	当該レコードに対してシステムが付与した一意番号が自動的に表示される	変更
	更新タイプ (MARCS T)	S	当該レコードの更新状況が自動的に表示される (参照レコードのみ) n : 新規レコード c : 修正レコード 等	
	変更ありフラグ (MARCF LG)	S	流用元参照レコードの更新状況が自動的に表示される (流用入力レコードのみ) arrived : 修正あり deleted : 削除	変更
	一般資料種別コード (GMD)	A	記述対象資料の一般資料種別をコード化して記録する US MARCのコード体系に準拠する	
	特定資料種別コード (SMD)	O	記述対象資料の特定資料種別をコード化して記録する US MARCのコード体系に準拠する	
	刊年1, 刊年2 (YEAR)	A	出版・頒布等の日付 (PUB) に対応する年を西暦で記録する 刊年1には, 出版・頒布開始の日付を記録する 刊年2には, 出版・頒布終了の日付を記録する不確実な年代は, 推定箇所を「-」で示す (196- 19- 等)	
	刊年1	M		
	刊年2	A		
	出版国コード (CNTRY)	A	出版地・頒布地等 (PUB) に対応する国名・地域名をコード化して記録する US MARCのコード体系に準拠する	
	本タイトルの言語コード (TTL)	M	本タイトル (TR) の言語名をコード化して記録する US MARCのコード体系に準拠する	
	本文の言語コード (TXTL)	M	本文の言語名をコード化して記録する 複数言語の場合は, コードを繰り返す US MARCのコード体系に準拠する	

	項目名（画面項目名）	データ 入力レベル	内容及び記述規則概要
	データ要素		
I D & コ ー ド ブ ロ ッ ク	原本の言語コード (ORGL)	O	翻訳等の原本の言語名をコード化して記録することができる 複数言語の場合は、コードを繰り返す USMARCのコード体系に準拠する
	複製コード (REPRO)	A	記述対象資料が複製であれば「c」を記録する 複製でない場合は、何も記録しない
	出版状況コード (PSTAT)	A	記述対象資料の出版状況をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	刊行頻度コード (FREQ)	A	記述対象資料の刊行頻度をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	定期性コード (REGL)	A	記述対象資料の刊行の定期性をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	逐次刊行物のタイプコード (TYPE)	A	記述対象資料の種別をコード化して記録する USMARCのコード体系に準拠する
	国際標準逐次刊行物番号 (ISSN)	A	記述対象資料のISSNを記録する 要素の区切り記号「-」は記入しなくてもよい
	取消/無効ISSN (XISSN)	A	ISSNフィールドに記録しない、番号が不正な無効ISSN、キータイトル変更にかかわらず表示され続けている取消ISSN等を記録する
	LCカード番号 (LCCN)	A	米国議会図書館(LC)の頒布する印刷カードの番号を記録する 要素の区切り記号「-」は記入しなくてもよい
	NDL雑誌番号 (NDLPN)	O	国立国会図書館(NDL)の刊行する雑誌目録の番号(全国書誌番号)を記録することができる
ク	CODEN (CODEN)	A	記述対象資料のCODENを記録する
	ULP番号 (ULPN)	O	学術雑誌総合目録の旧版(和文編は1985年版以前の版、欧文編は1982年補遺版以前の版)に掲載されていた誌名番号を記録することができる

	項目名（画面項目名）		データ 入力レベル	内容及び記述規則概要
		データ要素		
記 述 ブ ロ ッ ク	出版・頒布等に関する事項 (PUB)		M	<p>出版・頒布等に関する事項を記録する</p> <p>PUBフィールドの設定は、出版、頒布、製作等、それぞれの役割ごとに行う</p> <p>出版地、出版者が対になって繰り返す場合は、その対ごとにフィールドを設定する（このとき、最初のPUBには、出版等の日付は記録しない）</p>
	出版地・頒布地等		A	
	出版地・頒布地等		M	
	2番目以降の出版地・頒布地等		O	
	出版者・頒布者等		A	
	最初の出版者・頒布者等		M	
	2番目以降の出版者・頒布者等		O	
	出版・頒布等の日付		A	
	最初の日付		M	
	2番目以降の日付		A	
	製作等に関する事項		O	
	製作地		O	
	製作者等		O	
	製作等の日付		O	
	形態に関する事項 (PHYS)		O	
	数量		O	
	その他の形態的細目		O	
	大きさ		O	
	付属資料		O	

	項目名 (画面項目名)	データ	内容及び記述規則概要
	データ要素	入力レベル	
記 述 ブ ロ ッ ク	その他のタイトル (VT)	O	<p>記述対象資料に関するタイトルのうち, TR フィールドに記録されないタイトルの形, 又は TR フィールドに記録されたタイトルの異形を記録することができる</p> <p>VT フィールドの設定は, タイトルごとに行う</p> <p>タイトルの種類は, コード化して記録する</p> <p>表紙タイトル: CV 裏表紙タイトル: BC</p> <p>識別タイトル: DT 親書誌タイトル: PT 等</p>
	タイトルの種類	M	
	タイトル	M	
	タイトルのヨミ	A	
	注記 (NOTE)	O	<p>記述対象資料に関する注記を記録する</p> <p>NOTE フィールドの設定は, 注記ごとに行う</p>
	価格/入手条件 (PRICE)	O	<p>定価等の入手条件を記録することができる</p>
	価格/入手条件	O	
	説明語句	O	
	変遷ファミリー ID (FID)	C	<p>タイトル変遷によって相互に関連づけられた雑誌群 (変遷ファミリー) に対してシステムが付与する一意番号が表示される</p>
	変遷注記 (BHNT)	C	<p>変遷ファミリーにおいて, 当該レコードの前後に位置する雑誌書誌レコード (前後誌) の主要な情報が表示される</p> <p>前後誌との関係は, コード化して表示される</p>
変 遷 ブ ロ ッ ク	変遷タイプコード	C	
	前後タイトル	C	
	前後誌コード ID	C	
	書誌構造リンク (PTBL)	U	

削除

	項目名 (画面項目名)	データ	内容及び記述規則概要
	データ要素	入力レベル	
リンク ブ ロ ッ ク	著者名リンク (AL)	A	<p>記述対象資料の著者標目を記録する</p> <p>ALフィールドの設定は、著者標目の数だけ行う</p> <p>基本記入の標目については、主記入フラグとして「*」を記入することができる</p> <p>著者名典拠レコードとの間にリンク形成を行った場合は、リンク先著者名典拠レコードのHDNG情報とIDが自動的に表示される</p> <p>著者標目が会議である場合、「その他の情報」には副次的要素である、回次、開催年及び開催地を記録する</p> <p>リンク形成を行わない場合は、著者標目を構成する著者名情報を記録する</p> <p>ただし、著者標目が会議である場合、副次的要素である回次、開催年及び開催地は、「その他の情報」に記録する</p>
	リンク形成を行う場合		
	主記入フラグ	O	
	リンク先著者名典拠レコードHDNG情報	S	
	リンク先著者名典拠レコードID	S	
	その他の情報	A	
	リンク形成を行わない場合		
	主記入フラグ	O	
	著者標目	M	
	リンク先著者名典拠レコードID	U	
	その他の情報	A	
	統一タイトル (UT)	U	
主 題 ブ ロ ッ ク	件名等 (SH)	O	<p>記述対象資料の件名標目、又はディスクリプタ等を記録することができる</p> <p>SHフィールドの設定は、件名標目等の数だけ行う</p> <p>使用する件名標目表、シソーラス等は標準的なものとし、その種類をコード化して記録する</p> <p>米国議会図書館件名標目表：LC SH 国立国会図書館件名標目表：NDL SH 等</p> <p>件名の種類は、コード化して記録することができる</p> <p>人名件名：A 普通件名：K 等</p>
	件名標目表の種類	M	
	件名	M	
	件名のヨミ	A	
	細目	A	
	細目のヨミ	A	
	件名の種類	O	

削除

変更

変更

	項目名 (画面項目名)	データ 入力レベル	内容及び記述規則概要
	データ要素		
	国立国会図書館請求番号 フィールド (NDLCLN)	S	国立国会図書館の請求番号が表示される (JPMARCのみ)
	国立国会図書館所蔵情報 フィールド (NDLHOLD)	S	国立国会図書館の所蔵巻次, 年月次, 所蔵注記, 旧 廃刊注記が表示される (JPMARCのみ)
	非転写フィールド (REM)	S	MARCからの変換時に他のどのフィールドにも格 納されなかったデータ (タグ, サブフィールド識別子 等を含む) が, そのままの形で表示される (参照レ コードのみ)

付録 5. 5 著者名典拠レコード項目一覧

	項目名 (画面項目名)	データ	内容及び記述規則概要	
	データ要素	入力レベル		
	レコード ID (<ID>)	S	当該レコードに対してシステムが付与した一意番号が自動的に表示される	変更
	更新タイプ (MARCS T)	S	当該レコードの更新状況が自動的に表示される (参照レコードのみ) n : 新規レコード c : 修正レコード 等	
	変更ありフラグ (MARCF LG)	S	流用元参照レコードの更新状況が自動的に表示される (流用入力レコードのみ) arrived : 修正あり deleted : 削除	
	統一標目形 (HDNG)	M	著者名の統一標目形を記録する 個人名の姓と名の区切り記号として「, 」 (コンマ, スペース) を用いる	
	名称	M		
	付記事項	A		
	名称のヨミ	A		
	属性コード (TYPE)	A	統一標目形 (HDNG) の属性 (個人 / 団体 / 会議) をコード化して記録する 個人 : p 団体 : c 会議 : m	削除
	同定不能フラグ (UNID)	U		
	場所 (PLACE)	O	統一標目形 (HDNG) にかかわる場所情報を記録することができる 記録の形は, 書誌レコードの出版地・頒布地等 (PUB) と同様とする (ただし, 第 1 格の形を用いる) 個人の場合は, 出身地, 又は活動場所を記録する 団体の場合は, 所在地を記録する 会議の場合は, 開催地を記録する 複数の場所を記録する場合は, 「;」で区切る	

変更

変更

	項目名（画面項目名）	データ	内容及び記述規則概要
	データ要素	入力レベル	
	時間（DATE）	O	統一標目形（HDNG）にかかわる時間情報を西暦年で記録することができる 個人の場合は，生没年を記録する 団体の場合は，設立年，廃止年を記録する 会議の場合は，開催年を記録する 不確実な年代は，推定箇所を「－」で示す（196－ 19－ 等） 複数の時間を記録する場合は，「；」で区切る
	生年，設立年	O	
	没年，廃止年	O	
	開催年	O	
	から見よ参照（SF）	O	統一標目形（HDNG）とは異なる形（から見よ参照形）を記録することができる SFフィールドの設定は，参照形の数だけ行う 異なる目録規則に基づく標目の形については，統一標目形フラグとして「＊」を記録することができる
	統一標目形フラグ	O	
	から見よ参照形	M	
	名称	M	
	付記事項	A	
	名称のヨミ	A	
リンクグループボックス	からも見よ参照（SAF）	O	相互参照先著者名典拠レコードの統一標目形を記録することができる 参照先著者名典拠レコードとの間にリンク形成を行った場合は，当該リンク先著者名典拠レコードのHDNG情報とIDが自動的に表示される SAFフィールドの設定は，相互参照先著者名典拠レコードの数だけ行う リンク形成を行わない場合は，参照先の著者名典拠レコードの統一標目形（HDNG）となりうる形（からも見よ参照形）を記録する SAFフィールドの設定は，対応する「からも見よ参照形」の数だけ行う
	リンク形成を行う場合		
	リンク先著者名典拠レコードHDNG情報	S	
	クリンク先著者名典拠レコードID	S	
	リンク形成を行わない場合		
	からも見よ参照形	M	
	名称	M	
	付記事項	A	
	名称のヨミ	A	

	項目名（画面項目名）	データ 入力レベル	内容及び記述規則概要
	データ要素		
リンク ブ ロ ッ ク	からも見よ参照（SAF） リンク形成を行わない 場合	O	
	リンク先著者名典拠レ コードID	U	
	注記（NOTE）	M	<p>統一標目形（HDNG）決定上の典拠，判断事由， 修正履歴，等を記録する</p> <p>NOTEフィールドの設定は，注記ごとに行う 注記の種類には，次のようなものがある</p> <p>1) 情報注記</p> <p>統一標目形（HDNG）と参照形（SF，又は SAF）との関係 （例）2以上の個人著者標目の関係 （例）団体の沿革</p> <p>2) 目録作成者注記</p> <p>統一標目形，又は参照形を決定する際に参考と した情報源 統一標目形の使用範囲 類似名称との識別 等</p> <p>3) レコード修正注記</p> <p>修正内容 修正事由 修正者 修正日時 等</p> <p>情報源を示すための基本的な形は，次のとおりであ る</p> <p>タイトル，出版年：引用データの初出場所ヨミ 等を決定する際に参照した資料の名称</p>
	非転写フィールド （REM）	S	MARCからの変換時に他のどのフィールドにも格 納されなかったデータ（タグ，サブフィールド識別子 等を含む）が，そのままの形で表示される（参照レ コードのみ）

変更

付録5. 6 統一書名典拠レコード項目一覧

	項目名（画面項目名）	データ 入力レベル	内容及び記述規則概要	
	データ要素			
	レコードID（<ID>）	S	当該レコードに対してシステムが付与した一意番号が自動的に表示される	変更 変更
	更新タイプ（MARCS T）	S	当該レコードの更新状況が自動的に表示される（参照レコードのみ） n：新規レコード c：修正レコード 等	
	変更ありフラグ （MARCF LG）	S	流用元参照レコードの更新状況が自動的に表示される（流用入力レコードのみ） arrived：修正あり deleted：削除	
	統一標目形（HDNG）	M	統一タイトルの統一標目形を記録する	
	名称	M		
	付記事項	A		
	名称のヨミ	A		
	同定不能フラグ （UNID）	U		
	から見よ参照（SF）	O	統一標目形（HDNG）とは異なる形（から見よ参照形）を記録することができる SFフィールドの設定は、参照形の数だけ行う 異なる目録規則に基づく標目の形については、統一標目形フラグとして「*」を記録することができる	削除
	統一標目形フラグ	O		
	から見よ参照形	M		
	名称	M		
	名称のヨミ	A		

変更

変更

	項目名（画面項目名）	データ	内容及び記述規則概要
	データ要素	入力レベル	
リンク グループ ロツク	からも見よ参照（SAF）	O	相互参照先統一書名典拠レコードの統一標目形を記録することができる
	リンク形成を行う場合		
	リンク先統一書名典拠レコードHDNG情報	S	参照先統一書名典拠レコードとの間にリンク形成を行った場合は、当該リンク先統一書名典拠レコードのHDNG情報とIDが自動的に表示される SAFフィールドの設定は、相互参照先統一書名典拠レコードの数だけ行う
	リンク先統一書名典拠レコードID	S	
	リンク形成を行わない場合		
	からも見よ参照形	M	リンク形成を行わない場合は、参照先の統一書名典拠レコードの統一標目形（HDNG）となりうる形（からも見よ参照形）を記録する SAFフィールドの設定は、対応する「からも見よ参照形」の数だけ行う
	名称	M	
	付記事項	A	
	名称のヨミ	A	
	リンク先統一書名典拠レコードID	U	

